

平成27年 議会報告・意見交換会

(市民からの提言等、議会からの回答の要約)

◆開催日、会場、参加者数及び担当班 1ページ
◆出席議員、所管委員会凡例 2ページ
◆提言等の要旨、回答の要旨 3～34ページ
◆「提言書」としていただいたご意見 35～37ページ
◆アンケート集計表、アンケートでのご意見 38～40ページ

◆ 開催日時、会場、参加者数及び担当班

開催日	開催時間	地域	会場	参加者	班
7月6日 (月)	19時～20時30分	鳴子温泉	鬼首地区公民館	25	1
		岩出山	池月地区公民館	9	2
		田尻	大貫地区公民館	10	3
		松山	松山下伊場野地区公民館	10	4
		鹿島台	鹿島台第二小学校	12	5
7月7日 (火)	19時～20時30分	古川	堤根公会堂	13	1
		岩出山	真山地区公民館	9	2
		田尻	沼部公民館	10	3
		三本木	三本木新沼地区コミュニティセンター	8	4
		古川	古川志田地区公民館	10	5
7月8日 (水)	14時～15時30分	鳴子温泉	鳴子総合支所	5	1
	19時～20時30分	古川	古川敷玉地区公民館	9	2
		鹿島台	鹿島台公民館	17	3
		古川	古川志田東部コミュニティセンター	9	4
		古川	古川長岡地区公民館	5	5
7月13日 (月)	19時～20時30分	古川	古川東大崎地区公民館	22	1
		古川	富長生活センター	5	2
		古川	古川宮沢地区公民館	15	3
		古川	畑中集会所	18	4
		古川	古川東部コミュニティセンター	37	5
7月15日 (水)	19時～20時30分	鳴子温泉	南野際会館	8	1
		岩出山	岩出山文化会館	5	2
		田尻	田尻地区公民館	8	3
		三本木	三本木伊場野地区コミュニティセンター	10	4
		松山	松山老人福祉センター	25	5
7月17日 (金)	19時～20時30分	鹿島台	鹿島台総合支所	23	1
		古川	市役所本庁舎	18	2
		古川	古川南部コミュニティセンター	11	3
		古川	古川清滝地区公民館	10	4
		古川	西古川地区公民館	47	5
合計				423	

◆ 出席議員（敬称略）

開催日	会場	班長	副班長	班 員			
7月6日（月）	鬼首	後藤錦信	中鉢和三郎	佐藤仁一郎	八木吉夫	横山悦子	遊佐辰雄
	池月	佐藤勝	氏家善男	佐藤仁一	加藤善市	豊嶋正人	大山巖
	大貫	相澤孝弘	関武徳	鎌内つぎ子	只野直悦	富田文志	山村康治
	松・下	小沢和悦	青沼智雄	氷室勝好	相澤久義	木村和彦	木内知子
	鹿二小	門間忠	佐藤弘樹	山田和明	大友文司	佐藤和好	
7月7日（火）	堤根	後藤錦信	中鉢和三郎	八木吉夫	横山悦子	遊佐辰雄	佐藤和好
	真山	佐藤勝	佐藤仁一	山田和明	氏家善男	大山巖	
	沼部	門間忠	佐藤弘樹	鎌内つぎ子	只野直悦	富田文志	山村康治
	三・新	小沢和悦	大友文司	佐藤仁一郎	氷室勝好	相澤久義	木内知子
	志田	相澤孝弘	関武徳	木村和彦	加藤善市	豊嶋正人	青沼智雄
7月8日（水）	鳴・支	後藤錦信	中鉢和三郎	遊佐辰雄	氏家善男	大山巖	
	敷玉	関武徳	豊嶋正人	佐藤仁一	八木吉夫	加藤善市	佐藤和好
	鹿・公	門間忠	佐藤弘樹	鎌内つぎ子	只野直悦	山田和明	
	志田東部	小沢和悦	相澤孝弘	佐藤仁一郎	横山悦子	青沼智雄	大友文司
	長岡	佐藤勝	富田文志	氷室勝好	木村和彦	山村康治	木内知子
7月13日（月）	東大崎	後藤錦信	中鉢和三郎	相澤久義	遊佐辰雄	氏家善男	佐藤和好
	富長	門間忠	山村康治	佐藤仁一郎	加藤善市	大友文司	大山巖
	宮沢	佐藤勝	佐藤弘樹	佐藤仁一	木村和彦	富田文志	山田和明
	畑中	小沢和悦	関武徳	八木吉夫	氷室勝好	横山悦子	豊嶋正人
	東部コ	相澤孝弘	青沼智雄	鎌内つぎ子	只野直悦	木内知子	
7月15日（水）	南野際	後藤錦信	中鉢和三郎	八木吉夫	遊佐辰雄	佐藤和好	
	岩・文	相澤孝弘	加藤善市	佐藤仁一	氏家善男	青沼智雄	大山巖
	田尻	佐藤勝	只野直悦	鎌内つぎ子	木村和彦	富田文志	山村康治
	三・伊	門間忠	佐藤弘樹	佐藤仁一郎	相澤久義	横山悦子	山田和明
	松・老	小沢和悦	関武徳	氷室勝好	木内知子	豊嶋正人	大友文司
7月17日（金）	鹿・支	門間忠	佐藤弘樹	佐藤仁一郎	氷室勝好	相澤久義	山田和明
	本庁舎	小沢和悦	関武徳	八木吉夫	加藤善市	横山悦子	遊佐辰雄
	南部コ	相澤孝弘	木内知子	富田文志	豊嶋正人	青沼智雄	大友文司
	清滝	佐藤勝	山村康治	鎌内つぎ子	木村和彦	只野直悦	
	西古川	後藤錦信	中鉢和三郎	佐藤仁一	氏家善男	大山巖	佐藤和好

◎佐藤清隆（議長） 7/6（5班） 7/7（1班） 7/8（4班） 7/13（2班） 7/15（3班） 7/17（5班）

◆ 所管委員会凡例

- ・議運……議会運営委員会
- ・総務……総務常任委員会
- ・民生……民生常任委員会
- ・産業……産業常任委員会
- ・建設……建設常任委員会

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
1	鬼首	人口減少	玉造地域の人口減少が目立っているが、議会では人口減少問題にどう取り組んでいるのか。	地方への新しい人の流れ、出産・子育て支援、雇用の確保、定住移住支援、婚活支援などについて、特別委員会や所管常任委員会で協議を行っており、執行部にも提言していく。	各委員会	1
2	鬼首	人口減少	保育所の利用時間など鬼首でもしっかり子育てができるよう環境を整備してほしい。	利用時間の関係でどうしても通勤途中の保育所に預けるようになり、小学校の入学にも影響していると認識しており、今後の課題と捉えている。	民生	1
3	鬼首	人口減少	放課後の学童保育の取り組みを早く検討してほしい。	子育て支援3法の改正により、小学校6年生まで拡大された。地域づくり委員会などが母体となり補助金により運営しているところもある。	民生	1
4	鬼首	人口減少	鳴子町時代は出産祝い金があったが今でもあるのか。	現行ではない。議会では3人目からの応援金を提案している。	民生	1
5	鬼首	人口減少	I T関連企業の誘致策はないのか。	現状として、工業団地の造成を行い、食品関連企業の誘致に取り組んでいる。トヨタ自動車関連での誘致企業もあり、I T関連も含め引き続き推進していく。	産業	1
6	鬼首	地域課題	国道47号の池月上宮付近からの両側の歩道整備はどうなっているのか。	建設課に確認する。	建設	1
7	鬼首	地域創生	本市の企業誘致の方向性は食品関連企業とのことだが、三本木地域のひまわり油や菜種油といった従来から取り組んでいるものも生かすべきである。	三本木地域のひまわり栽培は、全盛期に比べ農家戸数・栽培面積・収穫量ともに大きく減少しているが、ひまわりの丘には年間7万人を超える観光客が訪れており、本市でも重要な観光資源となっている。このひまわりを加工する「大崎市三本木農産加工センター」は、昭和62年度から操業され、加工機械類も経年劣化等による更新時期を迎えているが、現状での費用対効果に乏しく、施設稼働率も低迷している。今後の施設利活用策として、三本木地域のひまわり以外にも、鳴子温泉地域の菜種搾油等への利用等、幅広く施設の有効活用を図り、またバイオ燃料構想の拠点施設利用もできないか検討していく。 ○平成27年10月19日調査実施	産業	1
8	鬼首	地域創生	地方創生は古川地域などだけが中心となって、鳴子地域の鬼首のようなところは荒廃してしまうのではないのか。人口減少やまちなか再生への取り組みも行事のみで、何をするのか市の姿勢が見えてこない。	ご意見として伺う。議会としても尚一層提言していく。	総務	1
9	鬼首	地域創生	放射能汚染物の処理について反対しているだけで現実を見ていない。どうしたら処理できるのかも考える必要がある。	ご意見として伺う。	総務	1

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
10	鬼首	地域創生	林業の振興策はどう考えているのか。	地域振興の核となる林業の再生に向けて、平成27年9月には「大崎市森林ビジョン」の策定も予定されている。大崎森林組合が、鳴子温泉地域川渡地区の休眠製材施設跡地にチップ化施設を設置し、林地残材・間伐材等の利活用に取り組んでいる。熱源利用先として、田尻地域の加護坊温泉さくらの湯に導入された木質チップボイラーに投入されているほか、大崎森林組合による直接買い取り制度も運用されており、チップ用材の確保と自伐林家の育成につながることを期待している。今後も木質バイオマスの推進や大崎産材の地域内利用の促進について、積極的に協議・支援していく。	産業	1
11	池月	地域課題	小学校統廃合の話も出ているが、身近なところに保育所や学校など子供が集まるところがあることにより地域にも元気が出てくると思われるので、ぜひその点を考慮して統廃合等を進めてほしい。	教育委員会では学校教育環境整備指針を策定し、統合に向けた対応を進めており、去年は対象地区57カ所で懇談会を開催している。教育委員会では地域住民等との十分な話し合いを行い、無理に統合は進めないとしている。整備指針では、平成28年4月に松山小と下伊場野小、鹿島台小と同第二小を統合するとしており、鹿島台については28年4月から統合され、松山については同意が得られず、話し合いを継続するとしている。岩出山地域については、平成26年度の住民説明会では29年4月統合予定として説明を行っていたが、27年度に入ってから30年4月をめどに統合とし、保護者、住民等と協議を行っている。	総務	2
12	池月	地域課題	学校統廃合における地域住民の納得とはどこでの判断となるのか。	説明会での判断となる。岩出山小学校は約190人、他は40～50人の児童数であり、送迎を考えると今の場所でのよいのかという心配もあるようである。	総務	2
13	池月	人口減少	子供達は就職のため都会に出ていき、地元に戻ってこない。親の介護のために結婚しないケースも多い。	ご意見として伺う。	総務	2
14	池月	人口減少	独身のほうが楽なのだろうが、仲人にも耳を貸さず、話し相手もなく、スマホに夢中である。都市部の大学に入学すると地元には帰ってこないことで、教育しすぎると地方は滅びることになり、構造的なことを考えなければならぬ。ここには農地や山もあり、やる気があれば仕事を含め可能なことが見えてくるはずであるがどうか。	ご意見として伺う。議会でも人口減少問題対策調査特別委員会を設置し、雇用対策や子育て支援等をはじめ総合的な人口減少問題への議論を継続している。	産業	2

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
15	池月	地域課題	合併には反対であったが、合併してよくなったことは何か。	財政的にスケールメリットがあり、合併特例債により大規模事業ができる。しかし、総合支所の職員が減り市民個人にきめ細かなことはできなくなった。	総務	2
16	池月	地域課題	各小学校にある防災倉庫に何が入っていて、誰が管理するのかわかっていない。	ご意見、要望として伺う。	総務	2
17	池月	地域創生	防災無線について、地域ごとに防災機能にコミュニティー機能をプラスして使えるようにならないか。	ご意見、要望として伺う。	総務	2
18	大貫	人口減少	交通の便がよい他の自治体に転出する家族等もいるようだが、何とか現状の人口を維持できるように、公共交通の整備を進めるべきではないか。	人口減少は交通の利便性との関係がある。公共交通については1年をかけ、1千万円の調査事業を計上しており、やれるものから早く取り組んでいくよう進めている。	総務	3
19	大貫	人口減少	空き家の調査を行ったが、行政区の約1割が空き家であり、火災が怖い。	今年度、市では空き家の詳細調査及びデータベース作成業務を実施中である。この業務の中で所有者の意向調査を行い、今後、危険な空き家への指導や利活用の促進などに取り組んでいく。	総務	3
20	大貫	地域創生	大崎市は財政改革などを行ってきたが、どの方向に進んでいるのか。祭りは地域単位で行われ、観光公社も機能していない。数値目標を出し効果を上げてほしい。	数値目標は大事であると考えている。また、「一般社団法人みやぎ大崎観光公社」は、教育旅行・着地型観光・募集型企画旅行・受注型企画旅行・グリーンツーリズム等の観光事業をはじめ、チャレンジショップやカタログ販売での物産事業、JR古川駅案内所運営・大崎市観光パンフレット並びにポスター制作業務・シティプロモーション等の受託事業に取り組み、本市の観光行政とも連携・連動しながら大きな役割を果たしていると考えている。ただし、事務局人員や本市の支援体制への課題も多いため、今後も機能拡充や観光支援に向けて提言していく。 ○平成27年10月19日調査実施	産業	3
21	大貫	人口減少	トヨタ自動車関連の企業誘致を期待していたが現状はどうか。	本市でも産業振興と雇用拡大を図るため、企業誘致につながる諸活動を展開しており、企業立地奨励金は1社、企業立地促進奨励金は2社に交付している。また、各種奨励制度及び工業団地・空き物件等の情報収集・提供・周知、企業訪問、企業立地セミナー参加、ものづくり課題解決研究会の運営支援を実施している。 トヨタ自動車関連で新規操業を予定している企業もあるが、雇用確保をはじめ人口減少対策のためにも着実な企業誘致に努めていく。	産業	3

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
22	大貫	地域課題	大貫公民館のグラウンドは震災時にがれきの集積場となった。その後、砂利を取り、整地したが、いまだ砂利が多く、利用団体からも断られているため、使いやすいグラウンドへの再整備をお願いする。	グラウンドの再整備は現場を確認して、総務常任委員会で協議し、教育委員会に対応を求めている。	総務	3
23	大貫	地域課題	県道古川登米線石沢商店付近の歩道のマンホールが10cmほど上がってカラーコーンが置かれている。早く改善すべきである。	現場を確認して対応する。	建設	3
24	大貫	地域課題	県道河南築館線は道路が狭い上、木が道路にかかり車が通れないので、維持管理をしっかりしてほしい。	現場を確認して県へ要請する。	建設	3
25	大貫	地域課題	田尻上南から加護坊山に行く道路が草でひどく荒れているので、調査してほしい。	このようなところはほかにも多くある。調査して何とか対応したい。	建設	3
26	大貫	地域課題	投票所の削減による投票率の低下が心配されるので、投票所は現状を維持してほしい。	来年から18歳以上が投票できるようになるので、投票所のあり方を含め、当日の投票時間等、投票率向上に向けた研究をしていきたい。	総務	3
27	大貫	人口減少	人口増対策のため、若い人の定住の条件整備をしてほしい。	人口減少問題対策調査特別委員会でも大きな課題として協議を行っている。	総務	3
28	大貫	人口減少	グリーンツーリズム等で、もっと思い切った施策を望む。	「一般社団法人みやぎ大崎観光公社」との連携強化や事業拡充を含め、産業常任委員会でもグリーンツーリズム事業の展開を協議している。	産業	3
29	松・下	地域課題	斎場建設は2、3候補地が挙がっていると聞かすが、進捗はどうか。	大崎広域行政事務組合が大崎の古川、涌谷、松山斎場を統合して整備する予定であり、平成27年度中に場所を決定するとしている。候補地の評価基準作成をコンサルタントに委託し、選定を進めていくが、圏域住民の利便性にも配慮することになっている。将来的には、大崎地区の西部と東部に各1カ所整備する計画である。	総務	4
30	松・下	人口減少	誘致企業が少ないが現状はどうか。	企業誘致による経済の活性化と雇用の拡大を促進するために、北原工業団地に全体開発面積5.6haで整備している。工業誘致がかなってもオートメーション化が進み雇用拡大にはつながっていない現状もあるが、誘致活動を継続することは大切なので、今後も誘致施策や工業団地整備に対して積極的に提言していく。	産業	4
31	松・下	地域課題	地域内交通のコスモス号は運賃を200円に値下げしたことにより利用者が増えたが、さらに古川までの延伸はできないか。	6月16日開催の総務常任委員会において、松山、鹿島台地域の地域内交通の実情を聞いた。宮城県タクシー協会では苦しい経営状況ではあるが、市から要請があれば協議に応ずると言っている。	総務	4

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
32	松・下	地域課題	下伊場野小学校の統合問題が出ているが、今後の児童数の推移はどうなっているのか。また、地元の同意を得るためにどのような方策をとっているのか。	児童数は、平成27年度は24名、28年度は22名、29年度は20名となっているが、特徴ある学校づくりが大切である。学校を廃止すれば地域の過疎化に拍車がかかる可能性があり、人口増と地域活性化を一緒に考える必要がある。なお、統合は行政の独断では進めないとしている。	総務	4
33	松・下	地域課題	過疎化が進み、現在の行政区が成り立たなくなってきた。例えば、旧松山町の下沢と旧三本木町の上沢は昔は同じ行政区であった。今後、行政区を統合等してもよいのではないか。	地域の希望を優先して考える問題だと思うので、地域住民の要望があれば、総合支所に相談していただきたい。	総務	4
34	松・下	地域課題	三本木地域伊場野の子供は三本木小学校より下伊場野小学校のほうが近いので、学区の見直しはできないか。	学区の見直しについても検討して行く。なお、事情によっては市内どこへでも入学できることになっている。	総務	4
35	鹿二小	議会	議会からの報告を視認できる資料が必要である。	ご意見として伺う。	議運	5
36	鹿二小	地域創生	地方創生は国の政策責任であり、地方創生と反する政策である。	従来 of 国政では実現できかねたことを当事者である地方の発想と企画力に委ねられ、財源を含み対応することから取り組んでいる。	総務	5
37	鹿二小	地域課題	消火栓にホース箱を設置してはどうか。	消火栓の使用には一定の技術力を伴う操作が必要であり、そのためにポンプ車に設置している。	総務	5
38	鹿二小	地域創生	地方創生のために、他地域からの人の知恵を求めてはどうか。行政視察から学ぶことを実際に生かすことも必要である。また、ベンチャー企業を育てる考えはないか。	本市では各施策での事業執行にあたって、プロポーザル方式での発注を実施している。また、人口減少問題対策の施策では、茨城県常陸太田市の担当課長を講師に議員研修会も実施し、その後の提言・提案を通じ政策にも反映されている。ベンチャー企業や起業家育成も図りたいと考えている。	産業	5
39	鹿二小	地域課題	中学校のスクールバスの考えと、松山鹿島台給食センターの時期はいつか。また、各地域にある図書館は全体的に暗いため、明るくすれば人が集まるのではないか。	鹿島台のスクールバスは実行に向けて対応している。また、給食センターは地震のため遅れている。	総務	5
40	鹿二小	地域課題	鹿島台第二小の統廃合問題はどうか。また、跡地利用はどうするのか。	P T Aからの要望により時期が早まり、平成28年4月から統合されるため、交流授業や事前協議などを行っている。跡地の利活用についてはまだ未定である。	総務	5
41	堤根	人口減少	大崎市の企業誘致の姿が見えない。他自治体では、企業誘致の専門家等が効率的・効果的に進めている例があると聞くが大崎市の考えはどうか。	企業誘致では各施策を拡充しながら、国の「よろず支援制度」の専門家派遣制度も活用し取り組んでいる。	産業	1
42	堤根	人口減少	人口減少問題は仕事がないことが最大の原因であり、企業誘致で打開できないか。	企業誘致施策及び事業には、今後も活発に調査・提言していく。	産業	1

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
43	堤根	人口減少	移住定住促進には雇用の確保が大事であり、働く場所を増やすためにも積極的な企業誘致策が必要である。具体的な方策と取り組みはどうか。	市では北原工業団地整備を実施し、平成27年度末には盛土工事が完了する予定である。また、新たな工業団地については「大崎市産業団地整備基本構想」に基づき、10ha程度の中規模団地候補地の検討を行っている。雇用創出を最重要課題と捉え、今後も企業誘致策をはじめ地元企業の育成や、起業支援等も含めた総合的な施策提案に取り組んでいく。 【市議会だより第43号掲載】	産業	1
44	堤根	地域創生	個人的にはTPPは必ず締結されると考えるが、その際の農業への影響とその対策を市としてどのように考えているのか。	大崎市議会では全会一致でTPPに反対すべきとする意見書を採択している。また、農業対策の一環として、米の新品種「ささ結（むすび）」の販売戦略を策定し、米の需要拡大や農家の所得維持に向けた取り組みを進めている。TPPが締結されれば、国として激変緩和措置を取るものと考えているが、全国的に米余り基調の中で飼料用米の生産を推奨している現況である。農業は食糧生産だけでなく国土の保全等の多面的機能も担っており、政策的に支援してもらわなくてはならないことを、さらに強く国に働きかけていく。	産業	1
45	堤根	地方創生	米の販売戦略には強力なPRが必要である。大崎市産米をブランド化し、積極的に首都圏等へ売り込みを図り消費向上につなげるべきでは。具体的に、米の流通として全国の百貨店（デパート）には是非売り込んでほしい。名古屋の名鉄百貨店では、東北6県の中で、宮城の米だけが陳列されていなかった。各地の百貨店に並べばPR効果も大きいと考えるので是非取り組んでほしい。	本年度は水稻新品種である東北194号を愛称「ささ結（むすび）」とし、作付面積30haで本格栽培している。ささ結は、ササニシキ系新品種で和食や寿司に適しており、市内はもとより首都圏や海外でのPRや積極的な販売戦略を予定している。また、議会でも農業経営安定や消費拡大に向けて、活発に提言が出されている。 【市議会だより第43号掲載】	産業	1
46	堤根	地域課題	小学校統合後の既存校舎利活用の事例はないのか。	教育委員会では地域住民のご意見を聞きながら、今後検討するとしている。本市の事例として、平成26年3月31日で閉校となった鳴子温泉地域中山小学校は、国道47号の線形改良工事により国の道路用地等となることが決まっている。また、平成18年3月で廃校となった鳴子温泉地域鬼首中学校は、地区の若者たちの考えで「NPO法人鬼首山学校」として校舎を利活用している。	総務	1
47	堤根	地域創生	防災行政無線の整備状況はどうなっているのか。	平成26年度事業分が27年度に繰り越されて施工されており、本年12月から試験運用が始まる見通しで進んでいる。	総務	1

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
48	堤根	地域課題	小学校の統合に至る原因として、少子化・後継者不足・農業の魅力低下等々があり、地域で生活が立ち行かなくなることが問題である。何か方策はないのか。	農家に限った話ではなく、商店・ホテル・旅館等々でも同様に後継者問題や経営の行き詰まりの話が出ている。共通して言えることは、これまでの延長線上で考えていては立ち行かないということであり、新たな産業の創造や新商品・新サービス・新技術の開発を通し新たな価値を創造し消費者に提案することが求められている。市としても「NPO法人未来産業創造おおさき(MSO)」と連携し、農商工連携や6次産業化事業等をはじめ、農業の再生や商工業の振興に向けて様々な支援を行っている。	産業	1
49	堤根	地域創生	プレミアム商品券発行事業について、他の地域向け（市外・県外の方角向け）のプレミアム商品券を発行できないのか。	プレミアム商品券発行事業以外に、本年10月からプレミアム旅行券（おおさき鳴子温泉郷宿泊券）の発行を予定している。なお、事業内容は、大崎市への誘客や消費喚起につなげるために鳴子温泉の宿泊施設で使用できる5割引き宿泊券の販売と、インターネットからの宿泊予約により宿泊料が5割引きになるクーポンを発行するものです。	産業	1
50	堤根	地域創生	鳴子温泉への観光客が年々減少しているが、観光PRを充実する考えは。	鳴子峡の遊歩道通行止めの影響が大きく、山菜等への放射能汚染の影響や米価大幅下落に伴い農業所得が減少したこと等も、観光入込客数が減少した要因と考えている。 【市議会だより第43号掲載】 鳴子峡遊歩道の開放状況では、全長2,600mのうち法面工事等整備が完了した中山平側入口からの回顧橋までの350m区間と、鳴子側入口から大谷観音までの1,300mが開放されているが、9月11日の関東・東北豪雨災害等の影響もあり大谷観音から回顧橋までの区間はいまだ不通状況となっている。 ○平成27年10月19日調査実施 なお、大崎市における観光施策の強化や魅力あるまちづくりに向けて、平成27年9月には「大崎市観光振興ビジョン」の策定も予定されている。	産業	1
51	堤根	地域課題	広域水道が地下に敷設されている市道の舗装が悪く、降雨時水溜りができて困っている。	早急に対処するよう担当課に要請する。	建設	1
52	堤根	地域課題	道路舗装の補修は一時しのぎにすらなっていない。	ご意見として伺う。	建設	1
53	堤根	その他	市民病院で、ある患者が1年後に再診するよう指示を受け、1年と少し経過した後に本院外来に行ったところ、再診とはみなされず初診扱いになってしまった。	当局に伝達し、課題対処を促す。	民生	1

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
54	真山	地域課題	小学校統合後の跡地の利活用はどうするのか。統合により地域のコミュニティが存続できなくなるが、どんな施策を考えているのか。	鹿島台では統合後にコミュニティの件を含め、跡地の利活用などを考えるとしている。	総務	2
55	真山	地域課題	小学校統合後の跡地利用として、行政視察でのよい事例などはないのか。	行政視察で把握した事例として、跡地を福祉施設や企業誘致に利活用しているケースもあり、今後の議論の中での参考とする。	総務	2
56	真山	地域課題	統合される小学校の決定など、進捗はどうなっているのか。	教育委員会では複式学級の解消に力を注いでいるが、学校統廃合は地域の方々の納得を得てから行われる。	総務	2
57	真山	地域課題	真山地区を走る県道の管理が不十分で迷惑しており、地区に管理を委託してはどうか。	ご意見として伺う。	建設	2
58	真山	地域課題	地域公共交通のデマンド方式については予約が大変不便であり、よい施策はないのか。	岩出山地域における公共交通の現状把握を行うとともに、議会としても検討していく。	総務	2
59	真山	地域課題	学童保育員の資格を取得する際には臨時の保育員を雇用しなければならず、その臨時職員日当分を助成してほしい。	当局に伝達し、課題対処を促す。	民生	2
60	真山	地域課題	真山公民館の北山が崩落するおそれがあるとして、災害時の避難場所には設定されていないようだが、地域住民としては心配ないと判断している方が多いので、公民館を避難場所としてほしい。	所管の総務常任委員会において確認する。	総務	2
61	真山	地域課題	真山地区には自然の河川があるが、財源がないとの理由であまりにも改修に時間がかかりすぎている。	建設課に内容確認をし、後日回答する。	建設	2
62	沼部	人口減少	人口減少対策には働く場所が必要であるが、具体的な方策と取り組みはどうか。	悩ましく大変な問題だと認識しており、人口減少問題対策調査特別委員会でも多くの時間を費やし議論している。本市では、既設の北原工業団地でも造成工事を実施しており、雇用創出のための企業誘致にも取り組んでいるが、議会でもさらに企業誘致が推進するよう提案していく。また、農業経営安定の観点では、畜産クラスター事業や農業関連企業誘致、新品種「ささ結（むすび）」にも取り組んでいる。特にささ結は首都圏でもPR活動を実施し、本格栽培・販売となる本年に期待する声も多い状況で、道の駅等での農産物販売も好調です。工業分野では大崎市工業会が中心となり、「NPO法人未来産業創造おおさき」が設立され、商品開発やシステム及び仕組みづくりに取り組んでいるが、行政のバックアップや自己資金、運転資金のための産業振興基金創出の課題もあり、積極的な支援・補助をすべきと考えている。	産業	3

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
63	沼部	人口減少	大崎市では非常勤職員が多いと聞きますが、年収も低く、しっかりした雇用形態でないと定住しないのではないかと。	合併後に正規職員は約400人減少し、非常勤職員は約600人増加しています。合併当初の財政上の理由や新市建設計画の着工など、今後も大きなプロジェクトを予定していることから人件費削減を継続してきた経緯もある。ただし、現在では財政的に安定してきたことから、民間だけに任せるのではなく、まずは行政から非常勤職員の雇用状況を改善していくべきとの議論もあり、正規職員採用を進めていくよう努力していく。	総務	3
64	沼部	人口減少	人口減少対策には子育てや育児がしやすい環境づくりも大切であるが、具体的な方策や議会での議論はどうか。	待機児童はほぼ古川地域であるが、県や本市の子育て支援対策がまだまだ進んでいない現状であり、子ども医療費における対象年齢引き上げの県要望も含め、今後も取り組んでいきたい。	民生	3
65	沼部	人口減少	人口減少対策には商業圏が必要である。大崎市の中心市街地である古川地域に核となる商業圏をつくり、地域活性化のための大規模商業施設を誘致すべきでは。	古川地域の中心市街地では、まちなか再生計画を進めており対象エリア94haで再開発や整備を予定している。古川地域では合併前から都市計画が進まなかった経緯もあるが、震災復興計画により中心市街地整備の具体的な計画を議論しており、今後の推移を注視していきたいと考えている。また、商業圏では仙台市が他を圧倒しているものの、本市での商業対策も必要であり、議会でも積極的に議論していく。	産業	3
66	沼部	人口減少	人口減少対策には、若者の出会いの場も必要だが、仕事や収入が安定しなければ定住もしない。非正規雇用で不安定な若者も多いが対策はどうなっているのか。	人口減少問題対策調査特別委員会でも大きな課題として協議を行っている。	総務 産業	3
67	沼部	地域創生	大崎市民病院本院は毎朝混雑するため、道路渋滞と駐車場対策が必要である。	国道108号東回りバイパスができれば渋滞が緩和されると考える。	建設 民生	3
68	沼部	地域創生	古川地域で諸計画が進まないのは、市長が常に変わってきたことも要因だと思うが、現状はどうか。	着実に諸計画が実施されている。鹿島台駅周辺整備事業なども着工しており、各地域でも着実にまちづくりを進めている。	総務	3
69	沼部	地域課題	田尻中心部までは「くるくる号」も運行しているが、小さな地区では買い物や送迎の問題も切実であり、また美里町住民バスで市民病院へ通院している住民も多い。特に高齢者の交通対策への考えはどうか。	JR小牛田駅にはエレベーターがあるが、JR田尻駅にはなく高齢者が利用しづらい現状もある。田尻地域からは古川地域の市民病院だけではなく、民間病院や商店街を利用される住民も多いので、市内交通網の早期整備に取り組んでいきたい。また、「くるくる号」は他地域からも評価されている。地方創生には住民の声が必要であり、地域課題や提言は遠慮せずに要望してほしい。	総務	3

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
70	沼部	人口減少	災害公営住宅が古川地域を中心に170戸整備されている。そのうち、鹿島台地域に整備された災害公営住宅45戸は空き部屋が目立つがどうするか。また、災害公営住宅は今後、どう管理運営していく考えか。	災害公営住宅への入居希望者は古川地域に多いが、被災地での仮設住宅入居者や市内でのみなし仮設住宅入居者は、国の制度もあり迷っているようである。大崎市内での災害公営住宅整備については、震災後にみなし仮設住宅入居者の方々の意向調査を実施し170戸された経緯がある。	建設	3
71	沼部	地域課題	田尻「くるくる号」の利用者アンケートでは、病院利用が多かったため、美里町住民バスのように運行できないか。	美里町のシステムや、民間病院を網羅するような公共交通体系を提言していきたい。田尻「くるくる号」の運行には住民要望も出ていることから、早期の市内公共交通網整備に努めていきたい。	総務	3
72	三・新	地域課題	基幹バス三本木大衡線が新市民病院を経由する方向で調整をしていると聞くが、高倉線も市民病院を経由できないか。	市民病院に来院された方（1,020人）にアンケート調査を実施した結果、乗り換えなしで病院に来ることができればバスを利用するとの回答がかなりあった。また、総務常任委員会においてミヤコーバスとの意見交換を行った際には、市から要請を受ければ対応を協議するとの回答をいただいている。古川北谷地集落からも同様の要望があり、あわせて実現に向けて努めていきたい。	総務	4
73	三・新	地域課題	古南1号線を国道347号まで延長してほしい。	古南1号線の整備計画は5カ年であり、陸羽東線を平面交差して国道347号まで整備する。あと3年で完成予定であり、大江川の部分は県、道路は市の担当とし、工事協定を結び進めている。	建設	4
74	三・新	地域課題	合併して10年が経過するが、ここが進んだ、ここが変わったという部分を簡単に挙げてほしい。	本市においては1市6町が合併し、それぞれの市町が抱えていた大きな建設事業について合併特例債を利用し進めることができた。合併しなければ困難であったことが合併によって進んだという面はあった。	総務	4
75	三・新	地域創生	臨時職員を1,000人採用しても、能率が上がらないのであれば何人いても無駄であり、専門的知識のある人たちが能率的に仕事をこなしていくべきではないか。	非常勤職員すべてが能力が劣るということではない。例えば、保育士の8割は非常勤職員となっているが全員有資格者である。また、市では今後、専門的な知識や経験を有する職員を任期を定めて採用する任期付職員採用を行う予定である。	総務	4
76	三・新	地域創生	旧合同庁舎の跡地には図書館を建設する予定なのか。相当なスペースがあるので、本庁舎と抱き合わせでも建設可能だと思うが、いかがか。	図書館整備はスペース的には駐車場等も含めると決して広いとは言えず、隣接する民有地の敷地の一部も協力いただき建設する計画であり、社会教育にも使える研修室、市民ホールも備えた施設として建設される。	総務	4
77	三・新	地域創生	市民病院の駐車場有料化は維持管理の観点から必要である。	ご意見として伺う。	民生	4

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
78	三・新	地域創生	本庁舎、東庁舎など庁舎が分離しているの、いつかは統合すべきであり、どちらかといえば、図書館建設よりも新庁舎建設が先ではないか。	新庁舎は現本庁舎北駐車場に建設し、東庁舎と廊下でつなぐとともに、行事が開催できる市民ホールのような場所も設ける計画であり、平成32年3月完成を目指し進行中である。	総務	4
79	三・新	その他	水道料金などの公共料金、税金の未納者の対策はどのように行っているのか。	滞納が多い税目は国民健康保険税と固定資産税であり、2税の滞納額は約27億6,000万円（26年度決算）となっている。そのため、滞納整理に関し、支払い能力などの実態把握を進めた上で対応しているほか、一部は県の滞納整理機構において対応している。	総務	4
80	三・新	地域課題	グループタクシーの利用状況はどうか。2名以上の要件がネックとなり利用したいときに利用できないケースもあるので、ぜひ考えてほしい。	三本木地域内公共交通「たてやま号」が乗車率、収支率が低いために休止し、行政施策のグループタクシーに移行した。平成27年度の三本木地域内の65歳以上の数は2,143人、交付要件の基幹交通バス停から80メートル以上の距離を満たす人は880人いるが、実際に交付申請を行った人は32人で交付決定者は24人である。（10月末時点の交付申請者は41人、交付決定者は33人） 市内（三本木地域、古川地域東大崎地区及び古川富永地区）における27年10月のグループタクシー利用状況は、実人数で52人、延べ120回の利用となっている。また、この2人以上という要件は、他の地域からも同様の不満が寄せられており、先進地視察も含め、総合的に公共交通のあり方を検討していく。	総務	4
81	三・新	地域創生	市民病院は9時半以降の予約だと駐車場がほぼ満杯であるが、駐車場を増やす考えはないか。また、駐車場の有料化や病院利用者の検印等により、目的外での利用を防ぐことも必要ではないか。	病院利用者へのアンケートの中で、交通の便がよければ家族の送迎ではなくバスで来るとの回答が20%以上あった。そのため、便利な公共交通体系を検討するとともに、まずは30台分の増枠、それでも不足の場合は以前のような有料化、立体化をあわせて検討すると病院側では考えている。	民生	4
82	三・新	人口減少	30～40代の未婚者が増えてきており、婚活、出会いの場をつくることも必要だと思うがいかがか。また、大きな区域ではなく、もっと小さな地域単位でそのような場を設け、集まりやすい雰囲気をつくることも必要ではないか。	当局での事業実施により、去年は2組の婚姻が成立した。今後も継続して事業を実施していくとのことだが、実施回数の増加や、ご指摘の実施区域等抜本的対策も必要なことから、例えば、結婚相談員、推進委員のような方を登録制にし、実績に応じた成功報酬を支払うなどの方策を検討している。	総務	4

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
83	三・新	地域創生	放射能問題と最終処分場の問題について、加美町の候補地は大崎市の大切な水源であり、大崎市の対応や危機感、本気度には疑問を感じている。市ではどのように考えているのか。	市長は、県内市町村会議において県内に1カ所の指定廃棄物最終処分場をつくることになっているので、その成り行きを見守るとしているが、さきの議会において、「一定の方向性が出て、市町村長会議などに報告された時点で現地の視察についても判断したい」旨の、これまでより前進した答弁があった。議会では、詳細調査は地元の合意なしに強行してはならないとする旨の意見書を全会一致で採択し、国へ提出している。	総務	4
84	三・新	地域課題	地域の施設の小さな補修にも目を配ってほしい。特に、地域の山間部などは要望を出しても予算の関係で対応してもらえないことが多い。放射能問題については随時住民に正確な情報を伝えることが重要であり、またこの地域の交通弱者対策として何が有効か、グループタクシーを含め、総合的に考えてほしい。	ご意見、要望として伺う。	総務	4
85	志田	人口減少	学校の統合関係において、支援学校が手狭なので廃校を利用する議論が議会でされている。志田小学校がその対象学校なのだろうが、地域住民の理解も得ずにいかなものか。	この件で一般質問があったが、志田小学校を指しているものではなく、学校統合が行われた場合の校舎の利活用についての内容であった。統合は鹿島台地域の小学校で進んでいるが、この地域については教育委員会で目標は設定しているが、これから地域との話し合いをしていくことになる。	総務	5
86	志田	地域課題	支援学校の敷地が狭隘で、バスなどの通行に支障がある。できるだけ早く解決できるよう議会も協力してほしい。	ご要望として伺う。	総務	5
87	志田	地域課題	志田地区公民館入口が地盤沈下により段差が生じたため、直してほしい。	ご要望として伺う。	総務	5
88	志田	地域課題	通学路上にあるJR踏切への歩道整備を早くしてほしい。	年明けに建設常任委員会で現場を調査しJRにも要望しているが、もう少し時間がかかる。	建設	5
89	志田	地域創生	空き家条例により、地区の危険な空き家について、どのような対策ができるのか。	昨年、区長さんに空き家調査をしていただいたところ、約1500戸の空き家が確認された。条例制定により行政として対応ができるようになり、今後、区長さんの協力を得ながら、空き家の現状や所有の形態を確認し、実態把握に努めていくことになる。	総務	5
90	志田	人口減少	人口減少が進んでいるのに、世帯数が増加している。どのような分析をしているのか。	核家族化が進んでいることが主な要因ではないかと考える。	総務	5
91	志田	その他	年金機構の個人情報流出が問題になっているが、大崎市にサイバー攻撃はあるのか。また、セキュリティは大丈夫なのか。	サイバー攻撃を受けたことはないが、市民病院でウイルスの攻撃を受けたことがあり、ウイルス対策の強化を図っている。	総務	5

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
92	志田	その他	市民プールのストレッチ器具の配線が床上配線になっており、危険なので改善してほしい。また、機器の老朽化が進んでいるため改修してほしい。	現況確認を行う。	総務	5
93	志田	地域課題	支援学校は小中高を受け入れ、プレハブを増設しているため、敷地が狭い。学校統合問題も含め、支援学校のあり方を説明してほしい。	ご意見として伺うとともに、執行部へ伝える。	総務	5
94	志田	地域課題	学校統合は4校を一気にまとめるより、とりあえず2校を統合する方法もあるのではないかな。	ご意見として伺う。 なお、統廃合は学区単位で進めず、学区見直しも含め今後議論していくこととしている。	総務	5
95	志田	人口減少	移住者を増やすために、空き家を5年間無料で貸し出すなど新たな方法があるのではないかな。	住宅リフォームへの助成や働く環境の整備など全国の事例を参考にし、様々な方面から今後議論、検討していく。	総務	5
96	志田	議会	通学距離、学校規模の適正化など良い資料が出されている。今後もよい提言をお願いします。	議会として住宅支援策やその他の提言をしていく。	総務	5
97	鳴・支	地域創生	放射能最終処分場についてはどうなるのか。	加美町の候補地に決定すれば鳴子温泉も風評被害等の影響が大きく出る。議会としては住民の同意がなければ詳細調査はしない旨の意見書を可決し、国へ提出している。	総務	1
98	鳴・支	人口減少	空き家相談体制の充実を図るため、各総合支所にも相談窓口を設けてほしい。また、空き家、空き店舗の活用のため、水道やトイレ等の修繕に対する支援策を講じてほしい。	空き家バンクや移住支援センターの充実に向けた取り組みや、支援制度についても提言していく。	総務	1
99	鳴・支	地域創生	観光産業の振興として市と銀行の連携が必要ではないかな。	必要であり検討する。	産業	1
100	鳴・支	議会	議員の質問通告は内容を詳しく記入してほしい。(対応職員の事務の効率化)	報道などでは簡単に記されているが、以前よりは詳しく通告している。また、執行部からの聞き取りもある。	議運	1
101	敷玉	地域課題	市道、農道の舗装修理をお願いしたい。特に山城壇道路がひどい状況である。	建設常任委員会でこれまでの経過等調査する。	建設	2
102	敷玉	地域創生	空き家を取り壊しすると固定資産税が高くなるので、その軽減はできないかな。	空き家等の条例を6月議会で制定したので、特定空家等に認定されれば改善を進めることができる。	総務	2
103	敷玉	地域創生	マイナンバー制度導入に併せて、その広範な利用を検討してはどうか。また、制度がスタートした場合の住基カード使用の可否はどうなるのか。	ご意見として伺う。なお、住基カードは使用できなくなる。	総務	2
104	敷玉	地域創生	空き家条例をザル法にしないようにしてほしい。	ご意見、要望として伺う。	総務	2
105	敷玉	地域課題	新幹線東線の完成と河川改修が進んでいない。	新幹線東線は進んでいるが、進捗度を上げるように働きかける。河川の関係は県管理との兼ね合いもあり、市から働きかけを強めるよう要請する。	建設	2

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
106	敷玉	その他	マイナンバー制度は国が国民を管理するための制度であり、市民個人は困る。	市町村、個人が拒否できないので、国の利便性と連動しながら、管理を徹底できるようなシステム構築が必要と考える。マイナンバー制度は、「行政の効率化」、「国民の利便性の向上」、「公平・公正な社会」を実現するために導入される社会基盤整備であり、個人情報の一元管理を行うわけではなく、各種申請手続き等も窓口での個人番号の確認を行いながら、複雑な手続きを生じさせることなく利便性を確保していくものです。	総務	2
107	敷玉	地域創生	通所施設のあしたの広場やふれあい広場などでは、狭いところで野菜づくりを行っており、広い三本木にまとめてはどうか。	当局に伝達し、課題対処を促す。	民生	2
108	敷玉	地域課題	師山の天狗橋が狭いままで放置されており、危険な状態である。緑地公園周辺を含めて整備してはどうか。	埋蔵文化財の関係もあり、長年懸案となっているが、大変な危険箇所であることは承知しているので、県と市に働きかける。	建設	2
109	敷玉	地域課題	区長が市広報を配布して事故等があった場合は公務災害が適用となるが、代理者等が配布して事故等があった場合の補償については議会としてどう考えているのか。	区長は非常勤特別職なので公務災害の適用となるが、代理者については区長との委託による配達であるため、それぞれの地域において事故対応のシステムを決めなければならない。	総務	2
110	鹿・公	地域創生	27年前のふるさと創生の時、旧鹿島台町ではプランターに花を植えたが、邪魔になり鎌田記念館に持って行ったので処分してほしい。また、国の地方創生事業は2兆円規模であるが、大崎市では何に使うのか。	処分については、壊れたものは廃棄などをするよう伝える。本市では創生戦略5年計画を今年度に策定する。	総務	3
111	鹿・公	地域課題	野蒜街道の両脇は草が繁茂し、蛇やハクビシンが出るため、こまめに環境整備をしてほしい。県では年1回しか刈らず、行政区で年3回ボランティアで草刈りをしている。県でなければ自分たちでするので、お金を出してほしい。	関係機関に申し入れ、働きかけをする。	建設	3
112	鹿・公	地域課題	地方創生は発想の転換が必要である。また、鹿島台第二小は廃校目線で進んでいるがどうか。	教育委員会では、平成24年に策定した学校環境整備指針によって学校統合が慎重に進められており、26年度は57回地域に出向いて話し合いをしている。鹿島台第二小の児童数は、27年度は29名で1年生が1人となり、29年4月統合の予定であったが、28年度統合で地域との合意がされ、9月もしくは12月議会上程される。	総務	3
113	鹿・公	地域創生	原発問題については女川原発から34.5キロの距離にある鹿島台が頑張らなくてはいけない。	原発の避難計画問題は解決していかなければならない。避難計画は備えておく必要があり、議会で提言していく。	総務	3

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
114	鹿・公	地域課題	鹿島台第二小学校の廃校は寂しい。地区には今後学校に入る子供が8~9人いるのに、なぜ鹿島台小学校に行くのか。農村部には支援が必要では。	鹿島台第二小学校が学校統廃合でなくなれば地区が寂しくなることは理解するものの、地域振興には学校統廃合を問わず農業の再生が必要であり、農村支援策を積極的に図っていく。	産業	3
115	鹿・公	地域創生	農村部は疲弊している。米価の下落等に手厚い支援をすべきである。	米については仮渡金も大幅減額となり大変にショックである。国の緊急支援は申請が面倒で少なく、収入減少補填対策では1表当たり1,500円程度となった。市独自の施策展開も必要ですが、国にも農業再生と経営安定に向けて強力に要望していく。	産業	3
116	鹿・公	地域創生	鹿島台地域でも水害の町を逆手にとり、水力発電を検討してほしい。	水力発電は水路の流れがある岩出山地域で小水力発電を行っており、市内では企業による実証試験も実施されている。また、木質バイオマスでは、田尻地域の加護坊温泉さくらの湯でチップを利用し、またヨシペレットを市民病院で使用している。小水力発電は産業常任委員会で先進地視察を実施した経緯もあり、市内でも取り組み実例があることから今後も調査を重ねながら導入にあたり提言していく。	産業	3
117	鹿・公	人口減少	大崎市は障害児への支援が薄いと感じている。子供が障害を持ち、トレーニングが必要であるが本市には施設がないので仙台に通っている。交通費などの費用負担も大変で、市窓口の職員に相談しても解決しない。	当局に伝達し、課題対処を促す。	民生	3
118	鹿・公	地域課題	姥ヶ沢調整池は地震の影響で地盤が30cm下がり排水力が低下しているため、鹿島台町時代のシュミレーションとは違っており、総合的に考えてほしい。また、住宅地が増え都市水害と言えるので、国交省にも働きかけてほしい。	排水は、雨水、下水道対策事業で行っている。上流部の新設調整池は平成27・28年度建設予定であり、その他は少し時間がかかるが排水対策を要望していく。改良区の土地基盤整備事業も予定されており、排水路と排水対策に連携して取り組んでいく。なお、今予定されている対策は下水道事業の雨水排水対策なので、将来においては都市排水機場設置等の国交省関連の事業に期待していく。	建設	3
119	志田東部	人口減少	人口減少問題は今わかったことではなく、出生が少ないのに国が騒ぎ出さないと市も騒がないのか。市長は20万都市と言っているが、どこのことを言っているのか。	人口減少問題はまず国がなぜこうなったのかを反省しないと根本的な対策は出てこない。国の地方創生交付金は大いに活用したほうがよいと思うし、独自の対策も進めたい。今大崎市の人口は13万4千人、10年の間に4千人減っているが、20万都市構想は算盤的なもので、定住人口14万人、交流人口6万、合算で20万人である。人口減少問題対策調査特別委員会で議論を深めていきたい。	総務	4

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
120	志田東部	人口減少	未婚の男女の出会いの場については、各方面でテレビを活用し、大々的に放送されている。大崎市も活用して、主催を民間にお願いするなど、もっとリラックスできるような場にしてはどうか。	ご意見として伺う。	総務	4
121	志田東部	人口減少	25歳から35歳までの未婚の女性5名と対談したが、食事づくりや子育てが面倒なようであり、今働いているのは将来施設に入るためだという。月15万円の給料、両親は好きにしろと言っているそうだが、家庭でも教育すべきである。	ご意見として伺う。	総務	4
122	志田東部	人口減少	3世代同居者に助成をしてはどうか。	ご意見として伺う。	総務	4
123	志田東部	地域創生	安倍首相が所信表明演説の中で発言した「天は、何故、自分をすり鉢のような谷間に生まれさせたのだ。」という古橋源六郎の出身地、現豊田市に視察に行ったことはあるのか。林業・農業・教育に役立つことがあるのではないかと。教育は100年か1000年の長い目でみるべきであり、20年後の我々の生活はどうなっているのか、議員は20年後の議会を考えているのか。	ご意見として伺う。	産業	4
124	志田東部	地域課題	6月12日、ごみ収集車が忘れて来なかった。市に電話したがすぐ対応してもらえなかった。	調査した結果、塚目南区長から市環境保全課に、6月12日午後6時頃、収集車が来ない旨の連絡があった。週末であったため、担当職員が集積所のごみに網を被せ、週明け早々に収集するよう受託業者へ連絡し、その旨を区長へ報告した。6月15日、月曜日にごみは収集されたが地域の皆さんに迷惑をかけた。市では今後同様のことがないようにすることである。	総務	4
125	志田東部	議会	議会報告会はいつもこのような出席状況なのか。土日に報告会を開催しないのか。	広報の見直しでは地域づくり委員会に協力をいただいたり、参加者を募る工夫では日中開催を試みた。また、意見交換では具体のテーマを設け、一問一答による明快な進行や分かりやすい資料提供を心がけた。このような試みをサイクル化して、引き続き改善を積み重ねていく。	議運	4
126	志田東部	議会	6月の定例会の一般質問を見ると、ハード面の内容が多く、ソフト面が少ないように感じられた。教育面も含めソフト面をもっと質問してもよいのではないかと。	ご意見として伺う。	議運	4
127	志田東部	人口減少	塚目地区には約2千人が住んでいる。これから昔のように3世代が暮らす家を建てる場合、補助を出してはどうか。	参考にさせていただく。	建設	4

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
128	志田東部	地域創生	原発の指定廃棄物最終処分場の問題は、議会や市としてどうなっているのか。	市長は、県内市町村会議において県内に1カ所、指定廃棄物の最終処分場をつくることになっており、その成り行きを見守るとしている。しかし、さきの議会で「一定の方向性が出て、市町村長会議などに報告された時点で現地の視察についても判断したい」旨の、これまでより前進した答弁があった。また、議会では、「詳細調査は地元の合意なしに強行してはならない」とする意見書を全会一致で採択し、国に提出している。	総務	4
129	志田東部	人口減少	保育所の待機児童はどのような状況か。	小規模を含めた保育所の定員は、平成21年で2,015人、平成27年で2,866人と増加しており、平成28年にはさらに2,910人となる見通しである。小規模施設の増設で解消を図る予定である。	民生	4
130	長岡	人口減少	人口減少問題についての具体的取り組みはどうなっているのか。	議会では「人口減少問題対策調査特別委員会」において委員間討議を深め、本市の総合戦略策定に向けて提言している。また、雇用機会拡大について、商工会、商工業関係団体より企業誘致の要請もあり、議会でも人口減少問題を総合的な観点から捉えて活動している。	産業	2
131	長岡	人口減少	人口減少と地域づくりはリンクするのではないかな。	幼稚園、学校、診療所、郵便局、コンビニ等があり、若い人が居住しやすい環境、一方では高齢化社会を見据えた地域づくりが必要である。高齢化と少子化が同時進行しているため、地域内の絆が重要であり、市、県、国の連携が重要である。	総務	2
132	長岡	議会	議会報告会は日中の開催を検討し、議員活動の報告等を回覧で周知してはどうか。	広報の見直しでは地域づくり委員会に協力をいただいたり、参加者を募る工夫では日中開催を試みた。また、意見交換では具体のテーマを設け、一問一答による明快な進行や分かりやすい資料提供を心がけ。このような試みをサイクル化して、引き続き改善を積み重ねていく。	議運	2
133	長岡	地域創生	地域づくりにおいて高齢者の果たす役割は大きく、老人クラブ等への支援の充実が必要ではないかな。	地域貢献に旺盛な高齢者が増えていく中で、高齢者が生きがいを感じて日々の生活ができるような社会の環境整備として、高齢者の集いの場が継続的に拡大していくためにはどのような支援が必要かを委員会で議論している。	民生	2
134	長岡	人口減少	人口減少問題対策調査特別委員会の中間報告において、農業、商業、観光等に関する支援策等が掲げられているが、教育に特化することにより、若者たちが魅力を感じる市になるのではないかな。	特別委員会等において、今後も引き続き十分な検討を行い、政策提言に取り組んでいく。	総務	2

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
135	長岡	人口減少	人口減少への対応後は、地区はどのように変わるのか。	地域ごとに地域性を生かしてそれぞれ方向性を設定するのが望ましい。	総務	2
136	東大崎	地域課題	鳴子温泉地域中山地区の駅前の空き家増加の状況はどうなっているか。また、鬼首地区岩入の状況はどうか。	中山地区の駅前に空き家が増加している。10月に空き家条例が施行になることから、今後調査を進め、対策を取っていくことになる。危険な空き家は中山平温泉駅前周辺にはないものと認識している。鬼首地区は、昭和35年代の最盛期には、3,500人の人口があったが現在は1,040人となっており、その中でも岩入は21戸である。主な仕事は林業だが、交通の便がよくなったので勤め人は増えている。	総務	1
137	東大崎	その他	大崎市民病院への苦情も多く上がっていると思うが、どのように対処されているのか。	議会に寄せられたご提言や苦情は、早期改善を促すよう、当局に伝えていく。院内では相談支援室において医療ソーシャルワーカー等が相談に応じる体制がある。	民生	1
138	東大崎	地域課題	小規模小学校においても大変立派な教育が実践されているのに、なぜ小学校統廃合を進めるのか。	複式学級の解消等を目的に教育環境整備を進めている。教育委員会としては、地域との合意がないままに強引に進める考えはなく、今後も地域とのコンセンサスを築きながら進めることとしている。	総務	1
139	東大崎	人口減少	人口減少対策として交流人口拡大は重要であるが、鳴子温泉の入込客数を拡大するための取り組みを伺う。また、観光道路として、国道47号沿いに花等を植栽してはどうか。	鳴子温泉地域では、「おおさき食楽まつり」のような新たなイベントを仕掛け誘客を図っており、沿岸部や県南からも出店者を募りながら広域連携で魅力を高め集客力も増してきている。また、岩出山地域のあ・ら・伊達な道の駅が重点道の駅に選ばれたことで、今後一層、集客の核となることが期待されている。本年9月には「大崎市観光振興ビジョン」策定も予定されているが、鳴子温泉の観光資源を有効活用できるよう課題克服や施策充実に向けて提言していく。なお、花の植栽では岩出山地域の市民団体が、国道47号沿いに花を植える活動を長年実施してきたことで宮城県から表彰されている。観光振興には、さらなる各イベントへの支援や観光公社との連携、市内外へのPRや独自施策の展開も必要だと考えている。	産業	1
140	東大崎	地域創生	町の中は消費税率アップにより沈滞ムードが漂っているが対策はないのか。税収アップ分は戦略的に活用すべきだと考えるがどうか。	昨年度2回に加え、今年度もプレミアム商品券発行事業を実施し、消費拡大策を展開している。	産業	1
141	東大崎	地域課題	小学校の統合により廃止となった小学校の跡地利用は、地域コミュニティの核施設として利活用すべきと考えるがどうか。	地域ごとに事情が異なるので、地域の思いを聞きながら今後方策を考えることとなる。	総務	1

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
142	東大崎	地域創生	プレミアム商品券発行事業で、小規模事業所が活性化するような工夫はできないか。	プレミアム商品券は昨年度も2回発行されているが、その都度、実行委員会では販売価格・購入及び使用期限・販売場所等が協議され、発行の際に反映されている。 議会でも効果や工夫等の提案・検証に努めている。 【市議会だより第43号掲載】	産業	1
143	東大崎	地域創生	米の販売戦略は、新潟県のコシヒカリの販売戦略のように強力なPRが必要である。大崎市産の米として独自ブランド化はできないものか。	宮城県の販売戦略は、県北と県南の米をセットにして販売するものとなっており、県北としては不本意なものとなっている。水稻新品種「東北194号」も大崎市としては愛称「ささ結（むすび）」で販売するが、栗原市や登米市では「東北194号」のまま販売することとしており、産地間の連携がうまくできていない課題もある。一般的なひとめぼれやササニシキの販売戦略を含め、大崎市産の米がブランドになるような取り組みに向けて提言していく。	産業	1
144	東大崎	人口減少	人口減少問題への対策として、非正規雇用の待遇改善や、非正規雇用を少なくする方策が必要ではないか。	ご意見として伺う。	総務	1
145	東大崎	地方創生	20～30年先を見据えてどのような仕事をこの地域につくっていくのか見えない。安定した雇用とある程度の所得の保障が必要であり、そうした仕事に就くための人材の育成も必要と思うがどう考えるか。	大崎の特性から考えて、基本的には1次産業の安定がまず最初であり、次に兼業を前提にした仕事として、製造業・サービス業等での雇用労働に就く場合と、6次産業化により起業し、農産加工・流通・販売のような自営業に就く場合があると考えられる。 市としては、工場誘致を軸とした企業誘致を進めるとともに、既存の企業の商品開発・技術開発・販路開拓を支援し、製造業の振興に努めているが、さらに、6次産業化等により起業を目指す方に対して、農商工連携・6次産業化セミナー・創業塾等を開催し、人材育成面での支援もしている。また、地域の特性に合わせて、観光振興や林業振興を進めているので、これらの施策充実を図りながら併せて人材育成も進めていきたいと考えている。	産業	1
146	東大崎	人口減少	東京への一極集中のように、大崎市においても人口の古川一極集中が起きていると思われる。そうした問題への取り組みについて伺う。	大崎市内で見た古川中心部と周辺部（特に西部の中山間地域）の関係は、日本全体で見た東京と地方の関係と類似している。したがって、大崎市全体を一括りにした施策だけでは大崎市内での中心部への人の流れは食い止められないと考える。地域ごとの特性や問題をよく見極め、地域ごとの振興策が必要と考える。	総務	1

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
147	東大崎	地域創生	スポーツ推進の活動が見えない。具体的な取り組みがあれば示してほしい	予算面で、屋根の改修、耐震改修といった既存の社会教育施設の改修を重点的に進めている。また、小中学校の耐震改修もまだ継続して進めており、スポーツ施設の整備については後回しになっているのが実態である。議会では、独自のスポーツ振興についての議論が出されているが、以上のような予算面の制約から、なかなか具体的ものとなっていない。	総務	1
148	東大崎	地域創生	古川第25投票所は駐車場が狭く、バリアフリーにもなっていない。いっそのこと、東大崎地区の3つの投票所を1つに統合できないか。そうすれば人件費削減とともに、駐車場やバリアフリーの問題を解決できると考える。	投票区の見直しには賛否両論があり、行政内部で検討した経緯はあるが、最終的な結論に至っていない。	総務	1
149	富長	地域創生	道の駅を古川に建設すべきであり、高速インター付近も適地ではないか。	まちなか再生事業等で国道108号沿いに防災拠点を整備する計画が進んでおり、その地区に道の駅整備も示されているが、商業型ではないと報告を受けている。	総務	3
150	富長	地域創生	合併後10年が経過しているが、大崎市は一つの政策をしっかりと打ち出すべきである。	ご意見として伺う。	総務	3
151	宮沢	地域課題	小学校統廃合後の跡地活用策は、廃校前から施設を含め、跡地の利用方法の検討が必要であるが、どう考えているのか。	福祉施設や物流基地としての活用なども考えられるが、地域のご意見も聞きながら進めることになる。	総務	3
152	宮沢	人口減少	人口減少問題対策調査特別委員会の中間報告に、時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携するとあるが、周辺地域は人口減少と高齢化が進み、交通の足の確保が欠かせないがどうか。	時代背景は少子高齢化が進展しており、それに対応できる地域をつくることが求められる。地域公共交通体系の整備について協議しており、議会としても積極的に関わりをもって取り組んでいる。	総務	3
153	宮沢	地域課題	古川の鶴ヶ塚交差点は大変危険だが、信号機設置の考えはないのか。	今年度中に設置の予定で進められている。	総務	3
154	宮沢	その他	市民病院の施設改善や初診料に課題がある。また、患者の多重診療が困難であり負担軽減はできないのか。	施設改善策、多重診療の軽減策については当局に伝達し、課題対処を促す。初診料は厚生省令に基づくものであり、一般病棟200床以上の病院であれば全国的にも同じである。	民生	3
155	宮沢	地域創生	地方創生の財源配分は持続的に大丈夫なのか。	議会としても財源の確保が図られるよう国へ意見書の提出等に努め、積極的に働きかけていきたい。	総務	3
156	宮沢	地域課題	地区における防災無線設置場所が示されたが設置箇所が不足しているようである。	担当課の防災安全課に相談していただければ対応してもらえるので、ぜひ申し入れをお願いしたい。	総務	3
157	宮沢	人口減少	若い女性が働く企業を誘致してはどうか。	ご提言として担当課に申し入れる。	産業	3
158	宮沢	地域創生	ササニシキ特区を設けるべきである。	ご意見として伺いますが、水田農業の効率化を推進し、売れる米の生産と販路開拓強化等について政策提言している。	産業	3

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
159	畑中	人口減少	人口減少に危機感を持っている。古川地域は交通環境はよいが就業環境に不足を感じている。企業誘致等の産業強化にはどう取り組んでいるのか。	現在、企業誘致対策として、古川地域の北原地区で工業団地を造成中であり、さらに10ha規模の新たな工業団地を計画している。トヨタ関連企業やIT関係企業・食品関係及び地元企業の関連企業にも働きかけをしており、地元企業の育成、エネルギー産業等の起業支援にも取り組んでいる。	産業	4
160	畑中	人口減少	労働環境の充実とあわせ、子育て環境も大切であり、図書館建設に期待している。図書館整備の内容と周辺整備はどうなっているのか。	平成28年度内の完成を目指している。40万冊の蔵書を備え、各世代が利用できる機能を整える。あわせて、多目的ホールも併設し、駐車場整備も行うこととしている。	総務	4
161	畑中	人口減少	今後のまちづくりの方向性として、子供達が成長する過程の中で郷土愛を育み、故郷回帰へつながる本市の未来への可能性、定住への魅力をどう描くのか。現状として魅力を感じられない。	本市の人口動態、特に企業数や就労人口動態を見ても、懸念のとおり減ってきている。このことについては議会としてもしっかり取り組んでいきたい。	総務	4
162	畑中	人口減少	子供達が大学や高校を卒業するときに、就職先が地元にあるのか。	就職先を確保できるようにしなければならないと考える。	産業	4
163	畑中	人口減少	企業誘致は、正社員雇用を条件にしないと生活向上につながらないと思うがどうか。	正社員として地元雇用の増大を図る前提で企業誘致を進めている。	産業	4
164	畑中	人口減少	子育て環境の充実策とあわせ、若者世代の結婚観、家族観の意識変化への誘導と、労働賃金（収入）体系の充実に向けた取り組みが必要ではないか。	人口減少問題など地方自治体が抱える課題は多種多様となっている。人口減少問題対策調査特別委員会の中間報告に示したとおり、議会としても今後の議論を十分に深め、的確な対策を講じていきたい。	総務	4
165	畑中	地域創生	高齢化社会に向けた高齢者の生きがいづくりを考えるべきである。	今後の議論を十分に深め、的確な対策を講じたい。	民生	4
166	畑中	地方創生	地方創生と言われるが、地方がいくら考えても国政の方向性は地方軽視的政策が目立ち、地方の産業経済は縮小の一途なので、国政へ意見すべきではないか。	国には議会からも国政や制度に対する意見書を提出しているが、地方創生では今後の議論を十分に深め、しっかりと意見していく。	産業	4
167	畑中	人口減少	今になって人口減少問題を唱えるのは、これまでの政策が誤りだからである。政策の十分な検証と新たな政策確立が必要であり、子供達の医療や給食費の無料化をすべきである。	ご意見として伺う。	民生	4
168	畑中	議会	議会採決の賛否の公表をしてほしい。	公表している。	議運	4
169	畑中	人口減少	近所に空き家があるが、不用心で今後の周辺影響が心配される。条例制定で市の対応はしてもらえるのか。	空き家の持ち主がはっきりしており、持ち主対応が基本となる。今後懸念される事態が大きくなるときは適切な対応に向け手段を講じることになるが、まずは持ち主と話し合うことである。	総務	4
170	畑中	地域課題	古川大宮地区は人口が増加しているため、児童館の規模が小さすぎる。1学区1児童館ではなく、増やすなど充実すべきである。	当局に伝達し、課題対応を促す。	民生	4

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
171	畑中	地域課題	学校の統廃合で地域がなくなること を心配しているが、どうなっている のか。	学校統合は強制はしないことになっ ている。地方再生の課題とあわせて 真剣に対応すべきものとする。	総務	4
172	東部コ	議会	報告会次第のタイトルは広報と同様 に議会報告・意見交換会とすべきで ある。	ご意見として伺う。	議運	5
173	東部コ	議会	広報する際は、開催会場が誰にでも 分かるように住所等も記入すべきで ある。できれば誰もが分かる市の施 設で行ってほしい。	ご意見として伺う。	議運	5
174	東部コ	議会	報告会では、その地域の前回懸案に なっていた問題等を報告すべきであ る。	前回、回答できなかったものについ て全部を文書で出せるものでもなく、 今後の課題としたい。	議運	5
175	東部コ	議会	議会傍聴に行ったが報道機関への資 料を一般傍聴者にも配布すべきであ る。	ご意見として伺う。	議運	5
176	東部コ	議会	議会報告会の目的を明確にすべきで ある。回答できるできないはあるが、 我々の意見を聞いてもらうという場 でもあるはずである。	そのとおりである。日本創成会議が 示した日本の危機的な人口減少の試 算に鑑みて、今回は人口減少に伴い その対策等の意見を伺うこととし た。	議運	5
177	東部コ	人口減少	人口減少対策、地域創生がなぜ議題 にあがったのか。	本市は合併して10年が経過し、人口 が4千人強減少している。このまま 放置したなら若い人達が関東圏に移 動し、地方には子供を産む若い女性 がいなくなってしまう。その打開策 を求めるために市内に40歳以下の職 員で構成するプロジェクトチームを つくり、また議会では人口減少問題 対策調査特別委員会を設置し、6月 議会で中間報告をした。それを市民 の皆さんに見ていただき意見を聞 き、具体策を決めていきたい。そう いう思いでテーマにした。	議運	5
178	東部コ	人口減少	テレでを見ての話だが、東京で要介 護者が増加し、他県に移住させたい とのことである。雇用拡大にもつな がり本市で積極的に受け入れてはど うか。	本市でも特別養護老人ホームの待機 者は800人ほどいる。人口減少問題 対策調査特別委員会で議論してい きたい。	民生	5
179	東部コ	地域創生	議員はプレミアム商品券をどう思っ ているのか。金がある人しか買え ず、ばらまきに過ぎないのではない か。もっと有効にみんなが使えるも のにすべきでは。	かつて古川商工会議所が商工振興を 図るため始めたものであり、現在は 各商工会も加わり市内の消費活動喚 起につなげるために取り組んでいる。 プレミアム商品券は昨年度も2 回発行されているが、その都度、実 行委員会で販売価格・購入及び使用 期限・販売場所等が協議され、発行 の際に反映されている。議会でも効 果や工夫等の提案・検証に努めてい る。 【市議会だより第43号掲載】	産業	5
180	東部コ	人口減少	安心して働ける子育て施設を増や し、第2子を産める環境をつくって ほしい。	3歳未満児対象の保育所が3施設建 設予定である。	民生	5

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
181	東部コ	地域創生	子育て支援券を初めは使えなかった店も途中から使えるようにしてもらった。後から使えるようになった店の情報も含め、分かりやすくしてほしい。	子育て支援券の取り扱い店も申請方式ですが、広報・周知の観点から工夫できないか担当課に伝える。	産業	5
182	東部コ	人口減少	市は「宝の都」と言うが、市内にはいろいろな人が入ってきており、人によって宝は違うはずである。年代に合った宝をつくっていけば人が集まるのではないか。	ご意見として伺う。	総務	5
183	東部コ	地域創生	6月議会で労働者派遣法の意見書が否決されたが、議員にはその中身（改正内容）をよく勉強してほしい。年収200万円以下では子育てできないことをしっかり捉えてほしい。	勉強していないから否決したということではない。意見書が示され、各議員が内容を把握した上での結果である。	総務	5
184	東部コ	地域創生	農家は米価暴落などで打撃を受けている。農業救済策の実践に踏み出してほしい。	米価は昨年、仮渡金がひとめぼれで8,400円まで下落し、国の施策としても飼料用米にシフトしている現状です。本市の取り組みとして、昨年には水稻新品種の「ささ結（むすび）」を試験栽培し、本年は約30haで本格栽培しており、都市部でのPRや全国・海外展開を目指している。	産業	5
185	東部コ	地域創生	林業の取り組みとして、バイオマスで独自の大崎発電をつくってほしい。	現在、木材をチップ化し田尻地域の加護坊温泉さくらの湯に、また田尻地域蕪栗沼のヨシをペレット化し市民病院本院のボイラーに供給している。チップは原材料である原木が豊富なため、今後の拡大が期待されており、木材チップ工場は旧大崎東部森林組合跡地を利用し、大崎森林組合に委託している。	産業	5
186	東部コ	地域創生	放射性廃棄物処理場は水源が汚染されるので、市として農業を守る姿勢を示してほしい。	議会は水源地が汚染されるということについては同じ認識である。	総務	5
187	東部コ	その他	6月議会で安保法制に関する意見書を可決してもらい感謝している。古川台町に爆弾が落ち7人が死亡したという経験もあり、戦争は絶対にやめさせたい。	議会では「安保関連法案の国民が納得できる十分な審議を求める意見書」を可決した。	総務	5
188	東部コ	その他	古川東中学校体育館の下窓を開閉する手動式レバーが壊れていたため、学校の顧問に言ったが直らない。早く直してほしい。	実情を調べ対応する。	総務	5
189	東部コ	議会	7月開催の議会報告会の内容が9月にならないと見れないのは遅すぎるので、リアルタイムで見れるようにしてほしい。また、議会の開催日程も掲載してほしい。	ご意見として伺う。	議運	5
190	南野際	地域課題	老人クラブの補助申請（添付書類）がネックになり会員が減少している。事務能力がないので申請の簡素化が必要である。	当局に伝達し、課題対処を促す。	民生	1

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
191	南野際	人口減少	合併したことが過疎化に拍車をかけている。	ご意見として伺う。	総務	1
192	南野際	その他	市民病院の患者に対する接し方に不満がある。特に紹介状がない患者に対して対応が悪い。	当局に伝達し、課題対処を促す。	民生	1
193	南野際	地域創生	投票所の統合は進んでいるのか。	区長を通じて地域実情を調査した経緯がある。今後検討されていくことになる。	総務	1
194	南野際	人口減少	空き家の利活用については、特に貸借となると難しい面もあるが、実効性のある施策が必要である。	条例制定により一歩前に進むことができる。利活用についても積極的に取り組んでいく。	総務	1
195	南野際	地域創生	ステップアップ、チャレンジ交付金の手続きを簡素化し、自己負担なしの制度をつくってほしい。	自治組織活性化交付金事業全体を見据えて制度の改善などについて検討する。	総務	1
196	岩・文	議会	議会報告会への参加者を増やすための周知を考えてほしい。	広報の見直しでは地域づくり委員会に協力をいただいたり、参加者を募る工夫では日中開催を試みた。また、意見交換では具体のテーマを設け、一問一答による明快な進行や分かりやすい資料提供を心がけ。このような試みをサイクル化して、引き続き改善を積み重ねていく。	議運	2
197	岩・文	人口減少	増田氏の人口減少問題に関する報告は大変ショックであると感じているが、行政では人口減少に関して以前から知っていたはずである。	ご意見として伺う。	総務	
198	岩・文		学校整備から統廃合という言葉に変えたのはなぜか。	より分かりやすい表現に変えたものである。	総務	2
199	岩・文	人口減少	空き家が多くなっている。立木や雑草を刈り取る条例はないのか。また、青少年の遊び場となり、周囲の人は心配している。	空き家条例ができ本格的に対応できるようになった。雑草等の処理をするよう家主に何回も連絡している。	総務	2
200	岩・文	人口減少	議員は考え方が従来のままのような感じがするため、もう少し若者の考えも取り入れて取り組んでほしい。	ご意見として伺う。	総務	2
201	岩・文	議会	議員にフェイスブックの利活用を望む。	一部の議員が利用している。	議運	2
202	岩・文	人口減少	大崎地域に大学建設の話があったがなくなったのか。	大学誘致の話はなくなった。	総務	2
203	田尻	地域課題	田尻中目通木線の十字路での事故が多く、安全対策を早急にしてほしい。また、県道瀬峰線の通木地内のT字路に瀬峰側から古川方面への右折レーンの設置を望む。	信号機設置までに時間がかかる場合、カラー舗装等による安全対策を講じるよう担当課へ要請する。右折レーンについては県に働きかけたい。	総務	3
204	田尻	地域課題	田尻総合支所建て替えは、大崎市東部の発展、活性化を考え、場所の選定を含め、現在の事業費に限らず考えてほしい。	田尻と鳴子の総合支所の建て替え計画があり、まちづくり協議会等でのワークショップで意見をまとめているが、議会としても検討、提言していきたい。	総務	3
205	田尻	地域課題	水田の基盤整備後に、田尻川への排水路により屋敷周辺が崩壊してきているので、排水路整備をしてほしい。	市の排水路整備事業でできないか、建設常任委員会で現地を確認し検討したい。	建設	3

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
206	田尻	人口減少	人口減少対策の一環として婚活支援センターを開設するようだが、進捗状況はどうか。	プロポーザルによる委託業者が決まり、9月開設の予定である。	総務	3
207	田尻	地域創生	千手寺町周辺で建設予定の道の駅はどの程度のものか。	現在調整、協議中であるが、池月や三本木ほどの規模にはならないようである。	総務	3
208	三・伊	人口減少	人口減少は既に分かっていたことであるが、今なぜ地方創生、人口減少対策なのか。	人口減少や高齢化は想定されていたが、合計特殊出生率の低下や大都市圏への人口流出が地方の人口減少に拍車をかけている。東京圏の出生率は全国最低であり、現状のままでは、さらに人口減少が続き、国力の低下や福祉政策の維持が難しくなる。特に地方のよさを再発見し、創生することにより人口減少に歯止めをかけ、地方の衰退をとめていくことが必要となっている。	総務	3
209	三・伊	人口減少	ラムサール湿地や豊かな生物多様性に富む大崎市は環境教育に最適な場所であり、若い研究者が訪れるが、2年ほどの研究の後、仕事や住むところがないため首都圏に帰ってしまう。研究を生かした仕事の場の創出や、情報の発信が不足しているのではないか。また、ワイズユースに夢中に取り組む職員が必要であり、一時しのぎではなく、何を目指すべきか考えてほしい。	移住定住対策として、空き家バンクや移住支援センター事業などに組み始めている。移住希望者に対して提供できる空き家の確保が必要であり、市民の理解を得ることが重要となる。ご意見は貴重であり、担当課に伝えるとともに、議会としても議論をしていく。	総務 産業	3
210	三・伊	地域創生	合併して10年になるが、公民館活動は予算の削減が原因で合併以前と比べて停滞している。財政が厳しいとばかり言わずに、文化活動や体育活動の充実強化を図るべきではないか。	もう少し地域活動が充実できるよう研究していく。	総務	3
211	三・伊	地域創生	三本木の県有地へのパークゴルフ場建設に期待している。パークゴルフは今がピークだと思うので早く建設してほしい。	ご要望として伺う。	総務	3
212	三・伊	地域創生	加美町への放射性廃棄物の処分場建設は大きな風評被害を生むことになる。大崎市は静観の構えの感じがするが断固反対していくように求める。	議会としては反対の姿勢である。	総務	3
213	三・伊	地域創生	おいしい米づくりが需要の安定につながる。品種の開発やおいしい米の生産に市としても取り組むべきではないか。	今年から水稻新品種「さき結（むすび）」の販売戦略に取り組んでおり、成功するようにさらに提言していく。	産業	3
214	松・老	人口減少	人口減少問題対策調査特別委員会の中間報告に記載されている、市役所内に定住交流促進セクションの新設、おおさき定住サポート総合窓口の設置、空き家活用定住支援事業費補助金の創設に力を入れてほしい。	ご意見として伺う。	総務	5

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
215	松・老	人口減少	人口減少対策では、工業団地を造成しても企業はなかなか来ないので、農業を大事にした政策で地域おこしを考えるべきでは。	企業誘致に努力するとともに、まちを発展させてきた地場産業をしっかり再生させていきたいと考えている。TPPや米価暴落対策では意見書を国に提出し、本年2月には議長をはじめ農水省への申し入れ等も実施している。人口減少問題対策調査特別委員会の中間報告では、地方に仕事をつくり安心して働けるようにということで、農林業の衰退に歯止めをかけ、持続可能な農業生産へのアプローチについても記載しており、議会でも幅広い分野で議論している。	産業	5
216	松・老	地域創生	起業者支援の仕事をしているが、やりたい人はいっぱいいる。市で起業者支援をやってほしい。	「NPO法人未来産業創造おおさき(MSO)」でも、事業者の視点で起業者支援や育成に取り組んでいるが、商工会・商工会議所でも起業者支援事業を展開している。本市でも、起業家支援のさらなる充実を図るよう提言していく。	産業	5
217	松・老	人口減少	待機児童対策は最優先課題である。合併後10年が経過し、平均的な施策ではなく、特化した施策が必要であり、高齢者に優しいとか、きれいな街だとか、それを点ではなく線で結び、地域ごとの特徴をアピールできるようにすべきである。	子育て支援に力を入れている兵庫県相生市を調査したが、造船不況で人口減少が進む中、子ども医療費、学校給食の無料化、移住のための住宅支援などに取り組んでおり、参考にしたい。	民生	5
218	松・老	人口減少	人口減少問題対策調査特別委員会の中間報告にある「地方への新しい人の流れをつくる」の項目は大変すばらしい助成制度であるが、これらの冊子をつくり、行政と市民が一体となって発信できるガイド制度をつくってはどうか。	参考としていきたい。	総務	5
219	松・老	地域課題	合併して10年経つが良くなっていない。震災時の補修助成の申請を出すだけなのに総合支所で手続きができず、大事なことは本庁である。また、古川や小牛田に行けるようにシャトルバスの運行をしてほしい。このようなことを変えてもらわないと老人は困る。現に松山地域から他へ引っ越し人が増えている。	不便になったことをはっきりさせていただき、不便をなくすようにしていきたい。公共交通については現在コンサルに委託し、改善に努めている。	総務	5
220	松・老	その他	昨年9月にみやぎアピール行動大集会在三本木で行われた際に三本木地域の職員が障害者の話を聞かないということを耳にした。	状況がよく分からないため答えられないが、言葉遣いや聞く態度がよくないということだと判断する。実態について確認する。	総務	5
221	松・老	地域創生	大崎市には水や米があり、酒蔵もあるので、海外にも売り出せるような酒の開発を行うべきでは。	ご意見として伺う。	産業	5
222	松・老	地域課題	ぜひ区長会との意見交換会を行ってほしい。	区長会においてテーマを示していただき、要請があれば実施を検討させていただく。	各委員会	5

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
223	松・老	地域課題	松山地域の松山駅前ライフシティ・マリスへの商業用施設誘致について、難しい状況は理解できるが、どうなっているのか。	産業常任委員会でも現地調査を実施した経緯がある。松山駅前ライフシティ・マリスでは、平成27年10月現在の残分譲地は一般4区画・商業4区画となっており、商業用施設誘致については、生鮮3品等の小売店の進出に向けた取り組みとして小売店等へのアンケートや新聞広告、まちづくり協議会・商工会・地元住民との協議も継続されている。商業用施設が誘致できるよう、さらに働きかけていく。	産業	5
224	松・老	地域課題	鹿島台に抜ける主要道路は、3・11大震災以降振動が激しく、県土木に相談したが反応がない。松山斎場の臨時駐車場カーブと樹木の枝で見通しが悪く、危険である。また、コスモスロード、JR線路沿線（小牛田－鹿島台間）の草刈りもやっていない。	建設常任委員会において現地調査を行い、検討していきたい。	建設	5
225	松・老	地域課題	マリスの商業用地について毎年話題になっているが回答は同じである。期限を区切って、できるならこうする、できないなら何年待つてほしいと決めれば議論も進むのではないか。今日示された中間報告は重要なものばかりだが、全てやるというわけにはいかないの、3分の2を減らして、できるものをいつからいつまでやると示すべきである。また、できないことははっきりと理由を示すべきでないか。	ご意見として伺う。	産業	5
226	鹿・支	人口減少	鹿島台地域の災害公営住宅の入居は11戸にとどまっているが、今後の取り組みはどうなっているのか。	現在は災害復興住宅としての募集であり、今後いっぱいにならない場合の入居基準の改正はまだないが、検討と協議が必要と思われる。借り上げ仮設住宅制度も来年3月まで継続されていて入居希望が少ないとの見方もしている。	建設	3
227	鹿・支	その他	市民病院で診察順番の直前に担当医が民間病院へ往診するため待つてほしいと言われたが、どうなっているのか。	当局に伝達し、課題対処を促す。	民生	3
228	鹿・支	地域課題	鹿島台分院の整形外科診療は週2日間だけであり、医師を確保して毎日診療ができるようにしてほしい。	分院医師は4月から5人体制となり、経営も改善している。医師の確保については慢性的に不足しており、確保ができない状況にあるが、改善するよう強く提言していく。	民生	3
229	鹿・支	その他	市役所（支所等）では禁煙の普及により喫煙場所が庁舎外部であったりしている。スマートな分煙のために喫煙ルームを確保すべきではないか。	ご意見として伺う。	総務	3

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
230	鹿・支	地域課題	県道鹿島台高清水線の鹿島台から松山新田までの歩道が未整備のまま放置されているが、通学路でもあり、整備を急がれるよう要請すべきである。	県が既に用地買収をしているが、工事が遅れているので、関係部署に優先順位を上げるよう働きかける。	建設	3
231	鹿・支	地域課題	鹿島台駅の完成も視野に入り、駅東地区土地開発の事業促進を望む。また、地場産品の提供拡大や、松島への観光客を鳴子温泉へ誘導することにもつながるので、道の駅の設置を要望したい。	鹿島台駅は11月の互市前に完成、東西の駅前広場は3月完成の予定である。駅東土地開発は農振農用地からの除外もされており、市の支援策も検討するよう提言していく。なお、道の駅については専門家の指導や調査を踏まえながら地元の要望として出していきたい。	建設	3
232	鹿・支		都市計画税については、大崎市の中でも課税、非課税の地域があるが、公平性は保たれているのか。	都市計画税は目的税であり、都市環境整備や都市開発を行うため、区域を設定して課税している。用途の主なものは公共下水道事業や都市計画街路、都市公園の整備などである。	総務	3
233	鹿・支	地域課題	8・5豪雨災害から30年が経過する鹿島台巳待田地区周辺の浸水対策について実効性のある排水事業に取り組むべきである。	浸水対策事業については、雨水調整池を初めとして事業に着手することになっている。今後も早期実現に向け提言していく。	建設	3
234	鹿・支	地域課題	鹿島台巳待田農村公園の一部を宅地販売事務所に一時貸し付けたことについて、住民監査請求を提出したが棄却された。	監査委員の審査に対し不服申し立て、さらに行政訴訟もできるようになっている。	総務	3
235	本庁舎	人口減少	少子化問題は仕事がないことが問題である。大崎には広大な農地があり、農業で地域を元気にしてほしい。子供に農家での実習を取り入れたらよいのではないかな。	農業を盛り立てて地域を元気にするという点は全くその通りであり、ご提言として伺う。	産業	2
236	本庁舎	人口減少	人口を20万人にすると公約したがなっていない。相撲の白鵬関を呼んでいる費用はどこから持ってきているのか。会社を誘致する等、市民の役に立つようにお金を使ってほしい。	市では北原工業団地整備を実施し、平成27年度末には盛土工事が完了する予定です。また、新たな工業団地については「大崎市産業団地整備基本構想」に基づき、10ha程度の中規模団地候補地の検討を行っている。雇用創出を最重要課題と捉え、今後も企業誘致策をはじめ地元企業の育成や、起業支援等も含めた総合的な施策提案に取り組んでいく。 【市議会だより第43号掲載】	産業	2
237	本庁舎	人口減少	人口減少対策は最初から無理である。企業誘致はしていないし人口増は最初から間違っていた。総合計画の達成度は何%か。市民病院へのアクセスが最初から悪い。10年先が読めていない。基幹産業は農業だと言っているのに、何もやっていない。20万都市構想の責任をとってほしい。	ご意見・ご提言として伺う。	産業	2
238	本庁舎	地域創生	放射能の問題にしっかりと取り組み、原発の廃止を求めるべきである。また、戦争は何としても避けたい。	ご意見として伺う。	総務	2

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
239	本庁舎	地域創生	農業を絶対を守るようにT P Pを止めさせてほしい。また、林業を復活させ新しい雇用を生んでほしい。	T P Pでは国に意見書を提出し、林業再生や雇用創出に向けた提言も出されている。ご意見として伺う。	産業	2
240	本庁舎	人口減少	認可保育所の保育料免除をしてほしい。	ご意見として伺う。	民生	2
241	本庁舎	地域創生	電子投票はどうなっているのか。	選挙権が今後18歳からとなるため、その状況を見ながらの対応となるのではないかと。	総務	2
242	本庁舎	地域課題	緒絶の館の上のネットにハトの糞がいっぱいあり、汚く不潔である。	ご意見として伺うとともに、対処させたい。	総務	2
243	本庁舎	人口減少	20万都市はスローガンを変え、現実的目標を掲げて本気で取り組むべきである。	ご意見として伺う。	総務	2
244	本庁舎	地域課題	区長から半年間広報が届かなかった。区長制度を見直し、町内会が無報酬でやってはどうか。	ご意見として伺う。	総務	2
245	本庁舎	議会	行政視察の結果を公表しているのか。	公表している。	議運	2
246	南部コ	人口減少	日本の人口は8千万人くらいでよいという見方もあるようだが、全国の人口減少をどのように捉えているのか。	全国的に東京一極集中である。本市でも合併後全体の人口は減少しているが、古川地域は微増、周辺地域が減少している傾向は全国と同じと認識している。	総務	3
247	南部コ	人口減少	人口数より人口密度が重要だと思うが、人口密度として捉える危機意識に乏しいのではないかと。	ご意見として伺う。	総務	3
248	南部コ	人口減少	若い世代の人口増を目指すために、人を呼び込む対応が考えられないか。	若い子育て世代への対応として、保育所待機児童解消が後手になっており、産休後の働く場所の確保への対応が取れない状況である。	民生	3
249	南部コ	地域創生	農業では新規就農を促す対応が必要である。	新規就農支援は人口減少問題対策調査特別委員会の中間報告でも取り上げており、必要性を認識している。	産業	3
250	南部コ	地域創生	農業を主体にした起業を促し、農協に頼らないで自らの工夫でできる農業を考える必要がある。	ご意見として伺う。	産業	3
251	南部コ	地域創生	生産物に付加価値をつける販売戦略を積極的に取り組む方策はあるのか。	生産者が自ら取り組む販売戦略を支援することが大切であると考えている。また、補助・助成制度も検討する必要があるため、今後も支援体制充実に向けて提言していく。	産業	3
252	南部コ	地域創生	登山ルートを整備を行い、登山愛好者に温泉利用を促し温泉郷を活性化してはどうか。	登山と温泉を関連付けて、温泉郷の活性化を促す方策の一つにしたいと考えている。ご意見として伺う。	産業	3
253	南部コ	人口減少	子ども医療費の通院費助成を中学校卒業までにしてほしい。また、所得制限をなくすべきではないか。	議会では、本年第2回定例会において「子どもの医療費助成を早急に中学校卒業まで拡大することを求める意見書」を全会一致で可決し、早急な助成制度の拡充を宮城県に強く働きかけている。また、人口減少問題対策調査特別委員会では、人口減少や地方創生などへの対策を検討する中で、子ども医療費拡充について子育て支援施策の一つとして議論している。	民生	3

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
254	南部コ	地域創生	旧市民病院南病棟の活用策はあるのか。	旧救命救急センターを活用して夜間急患センターを設置しているが、南病棟の活用策はまだ決まっておらず、様々な活用法を探っていきたい。	民生	3
255	南部コ	人口減少	人口減少問題対策調査特別委員会の中間報告はよくまとめられているが、総花的である。今後具体化するためにどのように取り組んでいくのか。	議会として人口減少問題対策調査特別委員会の中間報告をまとめたが、市でも同様に調査作業が進められている。議会として市が策定する大崎市地方創生総合戦略に提言できるように具体案をまとめていきたい。	総務	3
256	南部コ	議会	意見交換会参加者以外の地域の声を議員はどのようにして聞く努力をしているのか。	地域住民の参加が少ないことは認識している。意見交換会のあり方を含め検討する。	議運	3
257	南部コ	地域課題	以前は、樹木は60cmに切断し束ねれば燃えるごみに出すことができたが、今は指定袋に入れなければ出せない。以前のようにできないのか。	収集を担当する大崎地域広域行政事務組合に確認したところ、出し方は今後も現状のルールで行う方向であると回答があった。理由としては、指定袋に入れなくて出されると、収集車では回収が難しいことと、ごみ集積所が木の葉等で汚れるためとのことである。	総務	3
258	南部コ	地域課題	排水側溝の汚泥をようやく処理できるようになったが、今まで処理できない理由の説明もなく、行政への不信感がある。	震災当時は側溝汚泥の放射線量が高く処理できなかった。3年が経過し低くなったため側溝の泥上げを再開し、処理は専門業者へ依頼している。	総務	3
259	南部コ	議会	今年のテーマ「人口減少対策・地域創生について」を会場にきてから知った。	6月の市広報に掲載したが、あまりに早すぎたかもしれない。今後、周知方法等を検討する。	議運	3
260	清滝	人口減少	働く場所がないのが原因で、この10年で人口が大幅に減少し、空き家も50件くらいある。T P P 賛成は企業誘致につながるのか。	市では北原工業団地整備を実施し、平成27年度末には盛土工事が完了する予定です。また、新たな工業団地については「大崎市産業団地整備基本構想」に基づき、10ha程度の中規模団地候補地の検討を行っている。雇用創出を最重要課題と捉え、今後も企業誘致策をはじめ地元企業の育成や、起業支援等も含めた総合的な施策提案に取り組んでいく。 【市議会だより第43号掲載】	産業	4
261	清滝	地域課題	小学校は少人数教育が望ましいと考える。また、雨が降ると校庭に水が溜まるので校庭整備をお願いしたい。	ご意見、要望として伺う。	総務	4
262	清滝	地域課題	安心して住める環境整備として、高齢化対策の一つに、公共交通システムの確立が必要であり、フルデマンド交通の導入とエリア拡大が図れないか。	地域内交通の充実については、エリア拡大も含めて予算審議等の際に執行部に対し求めており、今後も継続して働きかけていく。	総務	4
263	清滝	人口減少	子育て支援として、第2子以降への助成を考えてはどうか。	各種助成制度を提言しているが、現在はまだ決まっていない。	民生	4
264	清滝	地域課題	地域内交通のシャトルバス、オンデマンド、フルデマンド等の実現に協力してほしい。	ご要望として伺う。	総務	4

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
265	清滝	人口減少	議会では人口減少問題、経済の減速をどう捉えているか。	高福祉、高齢化の中で未婚の人が増加しているが、よい案はまだ出ていない。	総務	4
266	清滝	地域課題	デマンド交通について、宅急便方式を取り入れればよいのではないか。	総務常任委員会において地域交通についての意見聴取を行うので、ぜひ参加してほしい。	総務	4
267	清滝	人口減少	結婚相談センターはどうなっているのか。	古川駅前に婚活支援センターをつくり、9月に開設する予定である。	総務	4
268	清滝	人口減少	何とか清滝地区に工場を誘致できないか。	ご意見、ご要望として伺う。	産業	4
269	西古川	人口減少	市営住宅（古川新堀住宅）の空き家対策はどうなっているのか。	入居案内は行っている。老朽化施設については計画的な建替えを行っており、指摘された場所の現地確認をする。	建設	1
270	西古川	地域課題	地区人口のうち、70歳以上が27%、60歳以上だと50%を超えるのに比べて、新入生は15人である。このような状況で小学校を統合して地域が再生されるのか。	教育委員会では、小学校の統合整備計画をもって現状説明をしながら保護者や地域の方の意見を聞いている。統合については実行できるところから進めている。	総務	1
271	西古川	人口減少	人口減少とは何を焦点にしているのか。人口減少を直視すると傾向が出てくるが、どう対処しようと考えているのか。	地域から子供や若者が減少していることから人口減少問題を捉えての意見交換であり、あらゆる角度から検討しなければならない。	総務	1
272	西古川	人口減少	難民を受け入れてはどうか。	ご意見として伺う。	総務	1
273	西古川	地域創生	土地改良区のない地域で、基盤整備事業を希望している。平地と同様に山間地域でも圃場整備を促進すべきであり、良い策はないか。	土地改良区のない地域でも圃場整備は可能ですが、市では県営事業として進めており、地権者同意を得て事業要望しても採択まで時間が掛かっている現状です。	産業	1
274	西古川	地域課題	耳取地区の右岸の基盤整備と併せて生活道の改善までしてほしい。	地域課題と捉え、要望として伺う。	建設	1
275	西古川	地域課題	西古川地区に交番を復活してほしい。	ご意見・要望として伺う。過去に当時の県議員に地域要請を繰り返し行ったが、県警の計画が強く無理であった。	総務	1
276	西古川	地域課題	小学校統合は地域力の低下に拍車をかけるため反対である。	教育委員会では複式学級の解消を目指して地域の意見を聞いている。地域活性が維持できる検討も今後進めていかなければならない。	総務	1
277	西古川	地域課題	西古川駅と加美町を結ぶ交通システムを実現してほしい。	地域課題と捉え、要望として伺う。	総務	1
278	西古川	地域創生	地域創生に取り組む中で各地域の個性への道筋を示すべきである。	地域個性を維持しつつ地域創生計画をつくっていくよう議会でも2つの特別委員会を立ち上げ検討している。	総務	1
279	西古川	地域創生	小さな拠点づくりの人材育成にジュニア活動や青少年サークル活動を推進すべきである。	国の地方創生計画に参加するため、若手職員のプロジェクトチームをつくり4つの部会で意見を出している。12月までに執行部の方針が固まるので議会も注視する。	総務	1

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	所管委員会	担当班
280	西古川	人口減少	働く場が必要であり、工場の誘致に努めるべきでは。	市では北原工業団地整備を実施し、平成27年度末には盛土工事が完了する予定です。また、新たな工業団地については「大崎市産業団地整備基本構想」に基づき、10ha程度の中規模団地候補地の検討を行っている。雇用創出を最重要課題と捉え、今後も企業誘致策をはじめ地元企業の育成や、起業者支援等も含めた総合的な施策提案に取り組んでいく。 【市議会だより第43号掲載】	産業	1

【提言書としていただいたご意見等】

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	所管委員会
1	鬼首	人口減少	幼児保育、児童保育の充実。	民生
2	鬼首	地域創生	働く場の確保。	産業
3	鬼首	その他	暮らしやすい環境づくり（農業、林業等）、潤いある生活への道しるべ。	産業
4	鬼首	地域創生	工場団地への企業誘致は、大企業では非正規雇用が中心で若者は安心して暮らせない。正規雇用を主とする企業のみを誘致すべき。	産業
5	鬼首	その他	全国には農業をやりたい人は大勢いるが、農村側の受入体制、認識不足ではないか。この人達に情報を届ける不断の努力をお願いする。	産業
6	大貫	人口減少	若い世代の婚活を積極的に進める。定住・移住を空き家とセットで推し進める。	総務
7	大貫	地域創生	都市住民と農村の交流を積極的に進める。そのためには教育旅行の受け入れ、農家民宿等整備の支援が必要。	産業
8	大貫	その他	雇用の場の拡大、農業法人の設立と雇用の拡大。	産業
9	鹿二小	人口減少	教育費の高校まで無料化。	総務
10	鹿二小	人口減少	取り組んでいる子育て支援策の内容等がわかる資料がほしい。	民生
11	志田	その他	高齢化社会の防災対策、市民バス運行。	総務
12	鳴支	人口減少	人口減少問題対策調査特別委員会でのより良い案を期待する。	
13	鳴支	地域創生	議会の力量に期待する。	議運
14	敷玉	地域創生	農政に関連し、太陽光パネル、薬用植物の栽培について今後も情報提供をお願いしたい。飼料用米については、議会で普及を議論しているが、JAでは大豆優先である。JAの協力取り付けに尽力してほしい。	産業
15	敷玉	その他	生活道路の補修をお願いする。	建設
16	敷玉	その他	火葬場新設の情報がほしい。	総務
17	鹿公	人口減少	大崎市は本当に人口減少に対して何かをしているのか政策が見えづらい。高齢者に対する手当だけが厚い。子供を大事にしない町に人は残らない。	民生
18	鹿公	地域創生	旧古川市や岩出山、鳴子ばかりに力が入れている気がする。	総務
19	鹿公	その他	古川の保育所に預けているが、午後6時までなので仕事に影響が出ている。子育て環境を整えてほしい。	民生
20	志田東部	人口減少	都会で修業を積んだ方々のUターンができるアイデアが必要。早急に魅力あるまちの方策が必要。	総務
21	志田東部	地域創生	農林の振興策。	産業
22	志田東部	地域創生	教育の振興策。地方創生のリーダーシップが必要。	総務
23	東大崎	人口減少	第2子に対し50万円支給するなど大胆な政策しかない。	民生
24	東大崎	その他	投票率向上には電子投票がよい。	総務
25	東大崎	人口減少	若い人達は統廃合により学校のない地区には転入しないと言っている。	総務
26	東大崎	人口減少	若い人々の職場づくり（企業誘致）。	産業
27	東大崎	地域創生	人材育成の機関を充実させてほしい。	産業
28	東大崎	人口減少	地元で働くところがなければ自然と人は流出していく。雇用の場が増えれば人も集まり、企業誘致が必要。	産業
29	東大崎	地域創生	観光地の目玉は何か、鳴子温泉を目玉とするなら、他所にない、負けないものは何か。再度見直し考える必要がある。	産業
30	東大崎	その他	大崎市には休みに家族で行こうとする場所が何もない。魅力あるまちづくりが必要。	総務
31	東大崎	人口減少	人口減少問題は勤務する場所がないために発生すると思われる。企業誘致が第一。	産業
32	東大崎	地域創生	中山平コミュニティセンターはよい。	総務
33	東大崎	その他	三本木パークゴルフ場建設の推進。	総務
34	畑中	人口減少	子ども医療費と老人医療の無料化を実現してほしい。	民生
35	畑中	地域創生	安心して働き続ける条件を大切に確保してほしい。	産業
36	畑中	人口減少	保育料の軽減。病児保育の充実。学校給食の無料化。子供が小学校卒業まで働く女性の労働時間の軽減。	民生
37	畑中	人口減少	子供や高齢者が安心して過ごせる公園を町内ごとに設置。	建設
38	畑中	地域創生	空き家を安く、移住する家族に貸す。	総務
39	畑中	地域創生	農地を無料、または安く貸して放棄農地をつくらない。道の駅や産直販売所を設けて産物を販売する。	産業
40	畑中	その他	各庁舎の空きスペースを地域に無料で開放してほしい。	総務
41	畑中	その他	買い物などのために工夫した便利な市内循環バスを早期に実現してほしい。	総務
42	畑中	人口減少	空き家の取り組みは大変よい。住みよい町大崎を大声で語れるよう、市民の意識改革も必要。住み続けたい町大崎に育つよう期待する。	総務

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	所管委員会
43	畑中	地域創生	市内に温泉地がありながら車のない市民は恩恵に浴せず残念です。対外的なPRだけでなく、第一に市民が多く訪れ、にぎわいを創っていくことが大事である。	産業
44	畑中	その他	高齢者の認知症検査があったが、その結果により、予防対策に期待したが何もなかった。単にデータとりに協力しただけかと思ってしまった。	民生
45	畑中	その他	認知症予防などのため、パレット、Fプラザ等のイベントに参加したいが、バスもなく行けない。せめて、散歩がてら集会所に立ち寄って楽しいひとときを過ごせるように、「快適に利用できる地区拠点整備」を早急に推進してください。名実ともに「元気で長寿の都大崎」を希望する。	総務
46	東部コ	人口減少	地域ごとに「集団見合い」を実施し、結婚の場を積極的に設ける。	総務
47	東部コ	人口減少	他市等から移住してもらうために、市に専門の課をつくり、市の魅力提供、就職のあっせんをすれば、空き家対策や人口増が見込める。	総務
48	東部コ	地域創生	駅前道路沿いの空き店舗の解消は、市と商工会が連携し、業者が集まる場所にする。	産業
49	東部コ	人口減少	結婚しない若い人たちが地区にも多い傾向でネックになっている。出会いや婚活の場をつくるなどの結婚支援や準備金の支給制度の創設。住宅手当の支給や家賃の一部助成をする。	総務
50	東部コ	人口減少	保育所、児童館の増設、子ども手当の拡充、子ども医療費の無料化など子育て支援の充実を図る。	民生
51	東部コ	地域創生	広域合併により各地区に温度差はあるが、いつか一つの大きな輪になるように、それぞれの特性を生かして発展、発信できるようにしてほしい。	総務
52	東部コ	その他	少子、高齢化が進み、限界集落的な（行政区）班もあり、今後ますます一人暮らしの方が多くなりそうで孤立化が心配です。	民生
53	東部コ	その他	大雨、ゲリラ豪雨などへの冠水、洪水対策をお願いしたい。	建設
54	東部コ	その他	区の防災予算にも補助制度を設けてほしい。	総務
55	東部コ	その他	地区内の水路、側溝に泥土がたまり排水が悪い。	総務
56	東部コ	人口減少	東京、横浜等の自治体は高齢者等の介護、支援事業を他県等と協力して進めたいと検討しており、協調して受け入れを積極的に取り組む。	民生
57	東部コ	地域創生	老後の心の健康や生き生きとした楽しい日々を確保するため、集落や地区を単位とした「談笑の会」（笑いながらうちとけて話し合いができる会）をつくりたい。集落、地区内の人材の登用、雇用、育成にもつながる。市の支援（人的、財源的）を希望する。	総務
58	東部コ	その他	アユなどの魚が生息している出来川は生活雑排水等で汚れている。これを浄化、清流とし新江合川の堤防河川敷の利活用とあわせ、市民の健康づくりのための親水公園等として活用したい。	建設
59	南野際	人口減少	田舎にも若い人はいる。田舎の若い人が活躍できる舞台をつくること。	総務
60	南野際	地域創生	地産地消をしっかりまわす（エネルギー、食糧、人材）。	産業
61	南野際	地域創生	地域づくり委員会で利益をつくり出す事業をすること。	総務
62	南野際	その他	空き家、高齢化、地域内交通が地域課題。	総務
63	三伊	人口減少	学会、学生の研究の拠点づくり。	総務
64	三伊	地域創生	情報は発信するだけでなく、必要な方に届けるという気概で、コンセプトを明確に打ち出し、単なる寄せ集めではなく、ストーリーに沿って旧市町のよさを組み合わせる。	総務
65	三伊	その他	異なる分野（課）の連携を深め、横断的な事業により無駄を省き、有機的に市の取り組みが生かされるようにする。	総務
66	松老	その他	35人学級の実現に協力してほしい。	総務
67	松老	人口減少	松山駅前地区に店がないのは、利用人口が少ないからで、駅前を継続して宅造すべきだ。地価もさがっているので安くして、仙台までの通勤時間40分をPRすれば人口は増える。	建設
68	松老	その他	児童館の早期設置。	民生
69	松老	その他	農具民具の展示場の設置（幼稚園の遊具室を活用）。	総務
70	松老	人口減少	核家族化が進んでおり、子育て応援を中心にする。	民生
71	松老	人口減少	介護保険制度の使い勝手の悪さや介護職員の人件費アップを国に要望する。	民生
72	松老	人口減少	地域に住む環境改善が第一（子育て支援）。	民生
73	松老	人口減少	地域に住む環境改善が第一（企業の取り組み、商業の繁栄への取り組み）。	産業
74	松老	その他	野田橋からコスモスロードにつながる県道は凹凸だらけで穴が開いても補修どまり、早く補強工事を進めてほしい。	建設
75	鹿支	人口減少	若い人の収入を上げるためのPR。若い人の生活費（税金、公共料金等）を安くする。若い人の出会いの場の整備。保育所等の他市との違いをPR。	総務
76	鹿支	地域創生	宮城県は道の駅が少ないので、大崎市に道の駅を多くつくる。	建設
77	鹿支	地域創生	吹上高原キャンプ場のPRとイベント開催。	総務

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	所管委員会
78	鹿支	その他	(移住定住者) どの年代を呼ぶのか明確にし、そのターゲットの定住化計画をつくる。	総務
79	鹿支	その他	指定管理の協定を結んでいる集会施設の改築等に市の予算がまったく計上されていない、早急に改善していただきたい。	総務
80	本庁舎	その他	地域のよりどころとして、ミニ図書館と老人の運動場所をつくってほしい。	総務
81	本庁舎	人口減少	理想論では実現できないのが現実である。	総務
82	南コ	人口減少	安心して出産できる環境をつくるため、具体的な政策を提案して実行に移してほしい。	民生
83	南コ	地域創生	地域公共交通体系の整備方策を早急に提示する必要がある。	総務
84	南コ	地域創生	まちなか(七日町商店街)の活性化の方策を具体的に提示する必要がある。	建設
85	清滝	その他	公共交通は、将来のため、高齢者のため、フルデマンド交通の実施を望む。清滝から古川地区(駅、病院等)が500円で利用できるようにしてほしい。	総務
86	西古川	人口減少	雇用を生み出す「起業」の施策に予算を大きく割いてほしい。	産業
87	西古川	人口減少	専門学校の誘致。充実した学校教育環境づくり(早々に小規模小中学校を統廃合すべき)中央公民館で実施している婚活プログラムは全面的に改善すべき。公民館の社会教育事業として、若者の就労、起業、地域ビジネス創業プログラムを導入してはどうか。	総務
88	西古川	人口減少	既存産業の若返り支援。地域性にとらわれない産業誘致(デザイン、金融等)。	産業
89	西古川	人口減少	安心して出産できる女性のくらし支援(出産一時金の強化)。のびのびと子育てできる家庭支援(私立幼稚園、保育所への保育料補助)。	民生
90	西古川	人口減少	川渡マルシェ、岩出山ほっかぶりjapan、田尻手づくりマルシェなどの活動は議会で取り上げられているのか。これらの活動が既に小さな地域創生として動き出しているのに対し、市はどのような支援をするか計画を持っているのか。	産業
91	西古川	その他	市の非常勤職員と指定管理職員のほとんどが年収200万円程度であり、行政がワーキングプアを生み出している。この収入では家庭(子を育てる)を持ってない。人口減少対策と真逆の施策のままでよいのか。	総務
92	西古川	その他	ジュニアリーダー、青年団活動を地区公民館で強力に推進すべきであり、予算と社会教育主事等の配置をしてほしい。この若者が将来、地域に残り(戻り)地域活動のリーダーとなる。	総務
93	西古川	人口減少	大学の設置。	総務
94	西古川	人口減少	企業誘致(工業団地、アクセス)。	産業
95	西古川	地域創生	地場産業の活性化(水稲、畜産、林業)。こせがれネットワークの構築。	産業
96	西古川	その他	総合運動公園(三本木県有地)による外貨獲得。	総務
97	西古川	人口減少	独身者の婚活促進を図るための施策。移住も含め、居留意欲を持てる施策。男優位の考え方の払拭。少子化は避けては通れない課題である。少子化に対応した社会構成、政治が必要である。集落の再編成、コンパクトシティ化など。難民の受け入れの検討(戦後レジームの見直し)。	総務
98	西古川	地域創生	画一的な考えでなく、特徴や魅力の現有地域を重点とした創生の実践。中央主導ではなく、地方独自(真の地方分権)で取り組むシステムの構築。	総務
99	西古川	地域創生	そもそも地域創生とは何かについて、市民の共有化を図る必要がある。	総務
100	西古川	その他	安保法制化について議会ではどのようなアクションを起こしたのか。意見書を可決した地方議会の内訳は賛成6、慎重181、反対144である。	総務
101	西古川	その他	18歳以上の選挙権繰下げに対応する議会としての教宣活動が必要。	総務

No.	会場	テーマ	質問・意見・要望の要旨	所管委員会
-----	----	-----	-------------	-------

平成27年議会報告会 参加者アンケート集計表

回収率 40.7% 回答者数172/参加者数423×100

○お住いの地域

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
古 川	93	54.1	鳴子温泉	18	10.5
松 山	19	11.0	田 尻	8	4.7
三 本 木	8	4.7	無 回 答	0	0.0
鹿 島 台	22	12.8			
岩 出 山	4	2.3	合 計	172	100.0

○あなたの性別

区 分	回答者数	構成比(%)
男	130	75.6
女	40	23.3
無 回 答	2	1.2
合 計	172	100.0

○あなたの年代

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
10 代	0	0.0	60 代	75	43.6
20 代	0	0.0	70 代	51	29.7
30 代	3	1.7	80代以上	7	4.1
40 代	8	4.7	無 回 答	3	1.7
50 代	25	14.5	合 計	172	100.0

問1 議会報告・意見交換会を何で知りましたか(複数回答可)

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
広報おおさき	82	41.2	その他	28	14.1
まち協、公民館、支所だよ	36	18.1	無回答	2	1.0
チラシ(議員・区長)	51	25.6	合 計	199	100.0
市議会ホームページ	13	6.5			

問2 議会報告会の内容について ※今後に希望する内容(別紙参照)

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
わかりやすかった	91	53.2	無回答	22	12.9
どちらともいえない	49	28.7			
わかりにくかった	9	5.3	合 計	171	100.0

問3 意見交換会のテーマとすべき内容(別紙参照)

問4 開催日は次のどれが希望ですか

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
平日の昼	7	4.1	土日の夜	30	17.4
平日の夜	113	65.7	無回答	7	4.1
土日の昼	15	8.7	合 計	172	100.0

【地域別】

地域名	回答数	平日昼	平日夜	土日昼	土日夜	未回答
古川	93	3	66	10	14	2
松山	19	1	6	3	6	3
三本木	8	0	6	0	2	0
鹿島台	22	1	18	0	2	1
岩出山	4	0	2	0	1	1
鳴子温泉	18	1	12	2	3	0
田尻	8	1	5	0	2	0
合計	172	7	115	15	30	7

問5 開催時間はどうですか

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
長かった	14	8.1	無回答	12	7.0
ちょうど良かった	133	77.3			
短かった	13	7.6	合 計	172	100.0

問6 今後も参加したいと思いますか

区 分	回答者数	構成比(%)	区 分	回答者数	構成比(%)
思う	144	83.7	無回答	3	1.7
思わない	2	1.2			
わからない	23	13.4	合 計	172	100.0

問7 市議会への意見・要望等(別紙参照)

問7 市議会への意見・要望等

【議会報告・意見交換会へのご意見等】

議会報告会は大変良い勉強になった。多くの参加を望む。
何事も若い人達は関心が少ない。若い人たちが参加できるように検討してほしい。
次の開催にも是非参加したい。開催案内状をお手数でも町内会長・区長だけにでも案内すれば参加者も増えるかもしれない。
参加人数が少ない。
議会報告会の開催について住民への周知、案内をもっとやってください。
(議会報告会の)案内を文書などで徹底してほしい。
意見を述べる人の時間が長い、時間制限をすべき。会議時間が長い、夜の会議は1時間30分とすべき。
報告会は早い時間に開始して午後8時30分には終わってほしい。
(報告会において)議会運営の説明は無用。個別問題は別な時間に回答すべき。座長の説明が長い。質問に関係のない個人的答弁は無意味。答弁は親切だけれども長すぎる。関連説明も不要。座長の意見が多い(座長の意見を聞きに来たのではない)。議員の個人的意見(答弁)は不要。
(報告会は)時間内に終わるように、もう少しスピーディに進めてください。
(報告会の)開会挨拶は短く願う。
議会報告会の資料を事前に配付してほしい。
説明内容に合う資料を配付してください。
市議会の委員会活動をA4、1枚にまとめて提示してほしい。議会、議員としての案を示し、それに対する意見を求める手法もよいのではないか。
各議員が議案に対してどういう態度をとったのか一覧にして議会報告会に臨んでください。
一般の人に分かるように簡潔な文章で具体的に説明してほしい。耳が悪く聞こえない、マイクを使用してほしい。
意見交換会のテーマまで聞かないで出席したので、話す機会がなかった。事前にテーマを聞いていれば話す用意もできた。年齢のせいか話が聞きづらいので、マイクを使用してほしい。今後も議会報告・意見交換会を続けてください。
問題が多々あるので、意見交換会のテーマは必要である。
議題が大きく、議題をはずれた発言が多かった。
何事も具体的な説明が必要。
2年に1回の開催でよいのでは。
もう少し詳細に報告してください。
資料説明はページ番号を言ってください。議会報告会が年1回だと要望などの結果や報告が遅れるので、年2回くらいにすれば、住民要望等(問い合わせ)への回答ができるのでは。
(報告会は)身近なテーマでよかったが、解決策が見当たらない。もっと市民の中へ入り、報告を気軽にしてほしい。
議員の活動を生の声で聞ける場はすごく大切だと思う。
議会報告会で出された問題等において即答できない問題は、議論結果を次回報告会時に持参してきてほしい。
土日の夜は有職者も集まりやすいと思う。議員の報告会は出席したことがあるが、今回の集いは年に1度はしてほしい。もっと多くの市民が参加できるようPRすることくらいは私にもできそうです。市民一人一人が意識向上を図ることが大切です。
意見交換会については土日の日中にも開催してほしい。障害者意見交換会のときは車いすのエレベーターがある場所してほしい。
(報告会は)苦情を出す場ではないので、個別具体的な苦情対応を議員がする必要はないと思う。各地域で行っている高齢者の集いなどへの出前講座的な(報告会の)開催も必要かもしれない。
今回のテーマは非常によいが、報告に基づいた議論ができるようにすべきである。県道(深谷-大迫川の間)に歩道がなく危険、歩道設置に取り組んでほしい。
市税全般についての説明はよかったが、当地区の学校統合計画があるが、廃校後の利用はどうするのか。通学距離が遠くなり、家には老人しかいなく急な用で迎えに行けなくなる。市議会だより等で内容はある程度把握している。今後も市民に分かりやすくまとめた文章を配布してほしい。
市民参加を望む。議会改革だけでなく、魅力ある内容を望む。議会のあり方を議会内でもっとしっかりやってください。

【議会へのご意見等】

議会が「持続可能な地域社会のあり方」を調査しているとのことですが、市も議員も学校統合を前提にしている。学校もないところに若い人は住みたいため消滅するのではないか。地域の活力を取り戻すには、その地域で生活が完結（成立）することであり、学校、金融機関、店、仕事、生産の場があるということである。
人口増減、子供達の人口減、小学校の統合など意見交換があったが、池月の学童保育事業で平成26年度に学校との時間調整の不備により人件費が補助金よりオーバーしてしまった。
地域エゴを離れて、大局的見地から、暮らしやすい大崎市の今後のあり方についての議論を望む。
やれることから早くしてほしい。
一層、真摯な議論を期待する。
市民の声を市や市長に届けてください。
議員を減らすことなく、市民のために議会機能の充実に努力してください。
10年後、20年後の市議会のあり方について具体的に検討しているのか。
期日前投票を東大崎公民館でもできるようにすれば投票率が上がる。日々の仕事で議員は大変疲れているようにみえた。昨年のように眠っている議員はいないが、長い時間、目をつぶっている議員がいた。私たちも仕事を終えて参加しており疲れている。目をあけて話を聞いてほしい。
昨年4月と12月の選挙の立ち会いをしたが、若い人の少ないのに大変失望しているので、投票率向上に努めてほしい。
しごと・ひとの好循環をするための4つの目標を政策に生かしてほしい。
議案への議員の賛否の状況を一覧にしたものをプリントしてほしい。
企業誘致は地域事業者に対しても十分な配慮で、少しでも市の財源になるように活性化内容にしてほしい。市の公共施設の使いやすさを望む。
農業所得の向上により、地域の活性と人口減少の歯止めとなり、地域創生につながると思うので、ぜひ農政問題に強力に取り組んでいただきたい。排水路整備事業の推進、原子力発電から再生エネルギーや自然エネルギーの活用をしてほしい。
三本木にパークゴルフ場は何年度ころにできるのか。場所もよくわからない。
現在、企業誘致はどこまで進んでいるのか。住みよいまちづくりのため、移住者支援はどこまで決まっているのか、待機児童はいつ解消されるのかなど報告してほしい。地域コミュニティづくりは自主防活動を基点に推進することで活発になる。
鹿島台二線堤バイパスに大型のみちの駅をお願いします。これから関係者で話し合い、勉強会を行っていく。
市道の修理を早くしてください。
議員はボランティアでやってほしい。節約をモットーに住民の住みやすい町。
3年ほど前、古川のフジを見にきた方にこれだけかたがっかりされた。もう少し、魚と桜の木、フジの木やあじさい、あやめ等をふやして、楽しいきれいな散歩道として古川の春から秋まで、ずっと楽しめるようにお願いしたい。
人口問題に対する中間報告はよくまとまっていた。今後のまとめに向かったの日程、進め方などを具体的に提示してほしい。優先順位をつけて事業を具体的に進めてもらいたい。
他市と比較して議会の活動が活発で市民の負託に応えられていると評価している。今後とも透明性を保ちながらの活動を期待する。
様々な人の考えがあると思うが、子供達の幸せを一番に考えています。
公共交通は、将来のため、高齢者のためにフルデマンド交通の実施を望む。清滝から古川地区（駅、病院など）片道500円で利用できるようにしてほしい。
空き家が多い、議員の方々に空き家に足を運んでいただきたい。
大学、大学院を卒業しても地域に仕事場がなく残れない。
議会の中で人口減少問題を本市独自のテーマ、アイデアで考えていただきたい。
これからの地方政治のあり方を考えるとき、行政の政策審議を中心としたものではなく、地域住民からの政策提案を中核として議員が論議するシステムも検討が必要と考える。
今後も全力で頑張ってください。
今後、益々の活躍を期待している。
これからも市の発展のため頑張ってください。